Jet Wind 500C

ユーザーズガイド（Windows® 95/98用）

THE DOCUMENT COMPANY
FUJI XEROX

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

弊社は、省エネルギーを目的とした国際エネルギースタープログラムの参加事業者です。本製品は国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。

「Microsoft」「Windows」「Excel」は、米国 Microsoft Corporation（マイクロソフト社）の米国およびその他の国における商標および登録商標です。
「Macintosh」「AppleTalk」は、米国 Apple Computer, Inc.（アップルコンピュータ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
「PC-9800 シリーズ」は日本電気株式会社の登録商標です。
「Adobe」「 Acrobat」は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の登録商標です。
その他の商品名は各社の登録商標、商標、または製品名です。

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

「XEROX」「The Document Company」は登録商標です。

はじめに

このたびは Jet Wind 500C をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機には、本書を含め、次のマニュアルが用意されています。

- 『Jet Wind 500C セットアップガイド』

  プリンタをコンピュータに接続し、アプリケーションソフトウェアを使用して、文書を印刷するためのセットアップ方法について説明しています。

- 『Jet Wind 500C ユーザーズガイド（Windows® 95/98 用）』（本書）

  Windows® 95 または Windows® 98 をご使用のかたを対象に、使用上の注意事項やプリンタの機能、操作方法、困ったときの対処方法を記載しています。

- 『Jet Wind 500C ユーザーズガイド（Windows NT® 4.0 用）』（CD-ROM で [マニュアル] を参照）

  Windows NT® 4.0 をご使用のかたを対象に、使用上の注意事項やプリンタの機能、操作方法、困ったときの対処方法を記載しています。

- 『Jet Wind 500C ユーザーズガイド（Macintosh® 用）』（CD-ROM で [マニュアル .pdf] を参照）

  Macintosh® をご使用のかたを対象に、プリンタドライバの機能、操作方法、困ったときの対処方法を記載しています。

製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、本機をお使いになる前に、上記マニュアルを必ずお読みください。また、本機をご使用のときに、ご不明な点などありましたときにもマニュアルをご利用ください。
なお、本書は、Microsoft® Windows® の基本的な操作を理解されていることを前提に説明しています。これらの操作については Windows 関連の説明書を参照してください。

富士ゼロックス株式会社

本書のなかで ⚠ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

安全にご利用いただくために

プリンタは安全にお使いいただける機構となっていますが、誤った使い方をされると火災や重大な事故につながることがあります。次の注意事項を必ず守ってください。

各図記号は以下のような意味を表しています。

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指はさみ注意

⦸記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁　止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指　示

電源プラグを　抜　け

アースを接続せよ

設置および移動について

⚠注意

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所にはプリンタを設置しないでください。発火の原因となるおそれがあります。

プリンタは重さ約 4kg に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。プリンタの転倒などによりけがの原因となるおそれがあります。

プリンタを持ち上げるときには、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所にはプリンタを設置しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、プリンタの前後左右にそれぞれ 100mm のスペースを確保してください。

プリンタを移動する場合は、必ず AC アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。AC アダプターのコードが傷つき、火災や感電の原因となるおそれがあります。

その他

●印刷画質は気温や相対湿度によって変化することがあります。

- 動作可能温度：10 〜 40 ℃
- 最適印刷温度：16 〜 32 ℃
- 動作可能湿度：15 〜 80%RH（結露がないこと）
- 最適湿度：40 〜 60%RH（はがき使用の場合）

メモ　冷えきった部屋を暖房器具等で急激に暖めると、プリンタの内部に水滴が付着し、部分的に印刷できない場合があります。

●直射日光のあたる場所にはプリンタを置かないでください。故障の原因になることがあります。

電源について

⚠警告

AC アダプターのプラグは、定格電圧 100V で、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

AC アダプターのプラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。発熱による火災のおそれがあります。

AC アダプターのコードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると AC アダプターのコードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

AC アダプターのプラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、AC アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると発火のおそれがあります。
- プリンタから発煙したり、プリンタの外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- プリンタの内部に水が入ったとき

AC アダプターのコードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

付属の AC アダプター以外を使用しないでください。火災、感電、故障のおそれがあります。

⚠注意

プリンタの電源スイッチを入れたままでコンセントから AC アダプターのプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

AC アダプターのプラグをコンセントから抜くときは、必ず AC アダプターのプラグを持って抜いてください。AC アダプターのコードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず AC アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

連休などで長期間、プリンタをご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず AC アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

1 か月に一度はプリンタの電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。
なお、異常がある場合は弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店までご連絡ください。
• AC アダプターのプラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。
• AC アダプターのプラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
• AC アダプターのプラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
• AC アダプターのコードにき裂や擦り傷などはありませんか。

パラレルケーブルを接続するときは、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

ご使用のとき

⚠警告

プリンタの上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

プリンタの上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、プリンタ内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

万一、異物（金属片、水、液体）が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、AC アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。そして、弊社のカストマーサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。

プリントカートリッジを交換するときは、インクが皮膚に付かないよう注意してください。インクが付いてしまった場合は、水でよく洗ってください。
インクが付いたままにしておくと、皮膚に炎症をおこす原因となることがあります。

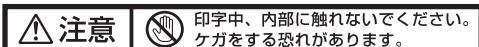
⚠ 注意

プリンタの上に重い物を載せないでください。プリンタのバランスが崩れて倒れたり、重い物が落下してケガの原因となるおそれがあります。

プリンタの近くで強燃性スプレーや引火性溶剤を使用しないでください。引火による火災の原因となるおそれがあります。

フロントカバーや用紙サポーターを閉めるときはゆっくり閉めてください。フロントカバーや用紙サポーターを勢いよく閉めたときに手などをはさむと、ケガをすることがありますのでご注意ください。

印字中、本体内部に触れないでください。ケガをするおそれがあります。

⚠ 注意 | 印字中、内部に触れないでください。ケガをする恐れがあります。

プリンタの本体内部にこのラベルが貼ってあります。

その他

●紙づまりの処置や故障の処置を行うときは、本書の『トラブルシューティング』の『紙づまり』の記載をよくお読みください。

●本機は、電源変動や雷等により、印刷中に不都合を生じる場合があります。この場合は、プリンタの電源を入れ直してからご使用ください。

●プリントカートリッジを強く振ったり、分解したりしないでください。

●受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。
電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

本機にネットワークアダプターを接続している場合は、受信障害を引き起こすことがあります。

消耗品について

その他

●消耗品は、ご使用になるまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
- 高温、低温、多湿の場所
- 火気のある場所
- 直射日光の当たる場所
- ホコリが多い場所

●プリントカートリッジは、安全のため、子供の手の届かないところに保管してください。誤ってインクをなめたり、飲んだり、または目に入ったりした場合には、すぐに医師にご相談ください。

本書で使われているアイコンについて

本書では、以下のアイコンを用いて重要な事項を説明しています。アイコンが付いている記述は、必ずお読みください。

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性があります。

プリンタを取り扱ううえで、知っておいていただきたいことやマニュアルの参照箇所が示されています。

プリンタを取り扱ううえで、知っていると便利な情報が示されています。

本書中で、下線の付いた青色の箇所を、人差し指の形に変ったカーソルでクリックすると、関連する項目のページを参照できます。

目次

Jet Wind 500C について

第 1 章

Jet Wind 500C は、テキストおよびグラフィックスを高画質に印刷できるカラーインクジェットプリンタです。

本書では、Windows 95 または Windows 98 を使ってプリンタを使用する方法について説明します。Windows NT 4.0 や Macintosh での使用方法については、付属の CD-ROM に収納されている [マニュアル] または [マニュアル .pdf] を参照してください。

プリンタの機能および仕様

Jet Wind 500C には、以下の機能があります。

- レーザープリンタ並みの高画質の印刷が可能です。
- 画面上のグラフィックスの色調を再現します。
- 両面印刷ができます。
- 小冊子にできるように印刷できます。
- １枚のイメージを分割し、各部分を別々に印刷することで、プレゼンテーションやポスター用の大きな印刷物に拡大連写ができます。
- 本体を組み立てる必要がないので、すぐに使えます。
- 長尺紙への印刷ができます。
- Windows 98 をご使用の場合は、本プリンタを USB（Universal Serial Bus）ケーブル（市販品）で、お手持ちのコンピュータや他の USB 対応の周辺機器と接続できます。

プリンタの寸法

- 高さ :　326mm（用紙サポーターを開いた状態）
- 幅 :　460mm
- 奥行き :　467mm（排紙トレイを引き出した状態）
- 質量 :　約 4kg（AC アダプター、プリントカートリッジを除く）

使用環境

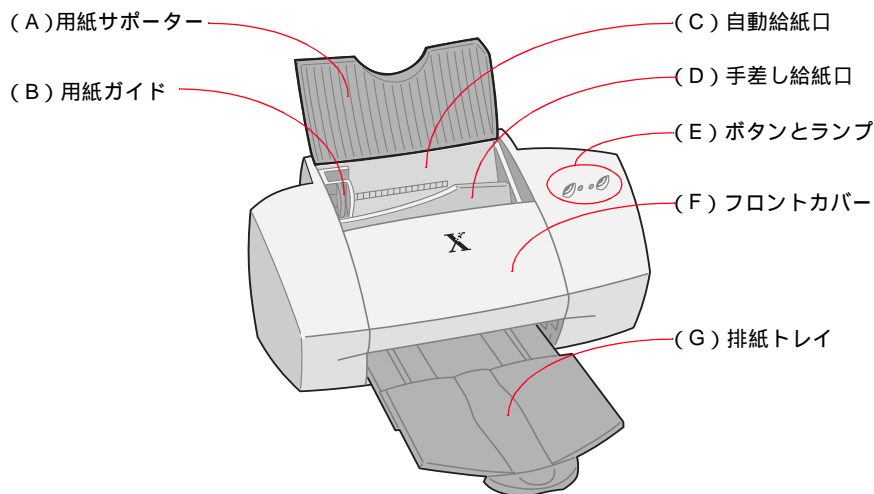
印刷画質は、気温や相対湿度によって変化することがあります。

- 動作可能温度 :　10 〜 40 ℃
- 最適印刷温度 :　16 〜 32 ℃
- 動作可能湿度 :　15 〜 80% RH（結露しないこと）
- 最適湿度 :　40 〜 60% RH（はがき使用の場合）

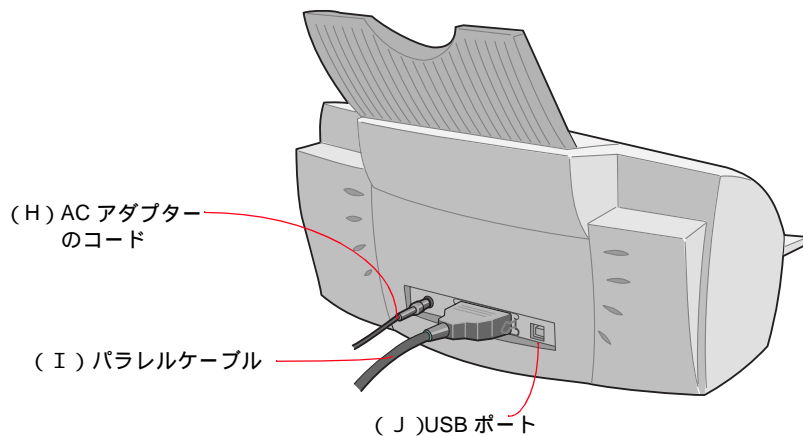
必要なシステム

- Microsoft® Windows® 95 Operating System **日本語版、または** Microsoft® Windows® 98 Operating system **日本語版**
- **ハードディスクに** 20MB **以上の空き容量（**100MB **以上を推奨）**
- IBM **互換機、または** NEC PC-9800 **シリーズで、双方向** 36 **ピンパラレルインターフェイス（**IEEE 1284 **準拠）をサポートとしていること**
- 486 **以上の** CPU **（**Pentium 90MHz **以上を推奨）**
- 16MB **以上の** RAM

プリンタの各部について

プリンタ前面の各部分の名称と機能について説明します。

部分の名称	機能
(A) 用紙サポーター	自動給紙口の用紙を支えます。
(B) 用紙ガイド	リリースレバーと一緒にスライドさせて、セットした用紙の幅に合わせます。
(C) 自動給紙口	自動的に用紙を給紙します。自動給紙口にセットできる用紙の枚数は、次のとおりです。 ・普通紙 ･･･ 100 枚 ・OHP フィルム ･･･ 10 枚 ・光沢紙 ･･･ 25 枚 ・コート紙 ･･･ 25 枚 ・アイロンプリント紙 ･･･ 25 枚 ・ラベル紙 ･･･ 25 枚 ・はがき ･･･ 30 枚 ・封筒、グリーティングカードおよびインデックスカード ･･･ 10 枚

(D) **手差し給紙口**	**手動で、一度に一枚ずつ用紙を給紙します。次の場合にも、手差し給紙口を使用できます。** • **自動給紙口にセットされた用紙を取り除かないで、別の用紙の種類に印刷するとき。** **たとえば、自動給紙口に普通紙をセットしたまま、封筒または** OHP **フィルムに印刷できます。** • **用紙が自動給紙口に送り込まれないとき。**
(E) **ボタンとランプ**	• **プリンタの状態を確認します。** • **プリンタの電源を入 / 切します。** • **プリンタから用紙を排紙します。** **詳細については、**7 **ページの「ボタンとランプについて」を参照してください。**
(F) **フロントカバー**	• **プリントカートリッジの取り付け、交換のときに開きます。** • **紙づまりを除去するときに開きます。**
(G) **排紙トレイ**	**排紙された用紙を受けます。**

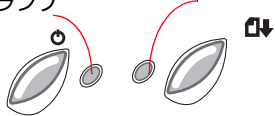
プリンタ背面の各部分の名称と機能について説明します。

部分の名称	機能
（H）AC アダプターのコード	プリンタに電力を供給します。
（I）パラレルケーブル	プリンタとパソコンとの間の、双方向通信を提供します。 パラレルケーブルは、本機には同梱されていません。市販品を使ってください。
（J）USB（Universal Serial Bus）ポート	USB ケーブルをプリンタに接続します（Windows 98 を使用時のみ）。詳細については、81 ページの「USB ケーブルの使用」を参照してください。 USB ケーブルは、本機には同梱されていません。市販品を使ってください。

ボタンとランプについて

プリンタにあるボタンとランプの名称と機能は、以下のとおりです。

ボタンの使い方

プリンタには、電源ボタンと用紙再セット / 排出ボタンがあります。

ボタンの種類	機能
電源ボタン	プリンタの電源を入 / 切します。
用紙再セット / 排出ボタン	・プリンタから用紙を排出します。 ・自動給紙口または手差し給紙口で用紙切れが発生したとき、用紙をセットしてからこのボタンを押し、用紙を送り込みます。 ・印刷を継続します。

ランプについて

プリンタには、電源ランプと用紙再セット / 排出ランプがあります。

ランプの状態	プリンタの状態
電源ランプ　用紙再セット / 排出ランプ 両方のランプが消えている	電源が切れています。
電源ランプが点灯し、用紙再セット / 排出ランプが消えている	電源が入っていて、印刷準備が完了しています。
両方のランプが点灯している	印刷中です。
電源ランプが点灯し、用紙再セット / 排出ランプが点滅している	用紙切れ、または紙づまりの可能性があります。 詳細については、89 ページの「電源ランプが点灯し、用紙再セット / 排出ランプが点滅している」を参照してください。
電源ランプが点滅し、用紙再セット / 排出ランプが 2 回ずつ点滅する	エラーが発生しました。 詳細については 89 ページの「電源ランプが点滅し、用紙再セット / 排出ランプが 2 回ずつ点滅する」を参照してください。

プリンタドライバの使い方

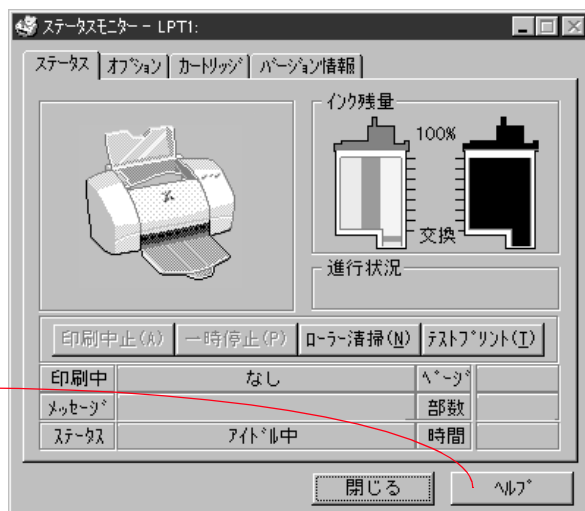
第 2 章

この章では、『Jet Wind 500C **セットアップガイド』でインストールしたプリンタドライバについて説明します。以下のプリンタドライバを使用することで、優れた印刷結果が得られます。**

ステータスモニター

ステータスモニターには、[ステータス]、[オプション]、[カートリッジ] および [バージョン情報] の 4 つのタブがあります。各タブをクリックして表示される画面で、プリンタドライバの設定を行います。

項目やタブの詳細については、[ヘルプ] をクリックします。

ヒント

印刷ジョブをプリンタに送ると、ステータスモニターが画面上に自動的に表示されるか、タスクバー上にアイコンとして起動します。

ヒント

アイコン化された状態で、ステータスモニターを起動する方法は次のとおりです。

1. **ステータスモニターを開きます。**
2. **[オプション] タブをクリックします。**
3. **[アイコンで実行] にチェックマークを付けます。**

タブ	オプション
ステータス	・インク残量の表示 ・印刷ジョブの進行状況の表示 ・印刷中止 ・印刷の一時停止 / 再開 ・ローラーの清掃（99 ページを参照） ・テストプリント ・エラーメッセージの表示 ・印刷中のページ番号の表示 ・印刷部数の表示 ・印刷経過時間の表示
オプション	・ステータスモニターをアイコンで実行 ・印刷終了時にステータスモニターを閉じる ・音声ガイドを使用 ・双方向通信を無効にする ・バッファを有効にする（長尺紙印刷を無効にする）
カートリッジ	・インク残量の表示 ・ブラックカートリッジ、カラーカートリッジ、またはフォトカートリッジの取り付け（67 ページを参照） ・プリントヘッドのレジ調整（70 ページを参照） ・ノズルのクリーニング（74 ページを参照）
バージョン	・ステータスモニターのバージョン番号 ・ステータスモニターの著作権情報

ステータスモニターを開く

1 [スタート] ボタンをクリックして、[プログラム] メニューを選択します。
2 [Fuji Xerox Jet Wind 500C] を選択します。
3 [ステータスモニター LPTn] をクリックします。

通常は [ステータスモニター LPT1] と表示されます。

プリンタプロパティ

プリンタプロパティには、[仕上げ]、[基本]、[文書 / 品質] および [詳細設定] の 4 つのタブがあります。各タブをクリックして表示される画面で、印刷する用紙に適した設定を行います。
プリンタプロパティは使用中のアプリケーションから開くことも、Windows から単独で開くこともできます。

各タブの設定内容については、次ページの表を参照してください。

プリンタプロパティ設定の詳細については、[ヘルプ] をクリックします。

タブ	オプション
仕上げ	・仕上げオプションの確認、選択 - 小冊子作成 - 拡大連写 - まとめて 1 枚（N アップ） - 両面印刷
基本	・用紙サイズの選択 ・給紙方法の選択 ・印刷部数の選択 ・原稿の向きの選択
文書 / 品質	・原稿タイプの選択 ・用紙種類の選択 （15 ページおよび 19 ページを参照） ・印刷画質の選択 ・インクの乾燥を待つ設定を有効にする ・標準設定に戻す ・バージョン情報の確認
詳細設定	・ハーフトーンの設定 ・イメージの詳細設定

アプリケーションからプリンタプロパティを開く

ほとんどのアプリケーションからプリンタプロパティを開いて、文書の印刷設定を変更できます。次の手順でプリンタプロパティを開きます。

1 アプリケーションの [ファイル] メニューをクリックします。
2 [印刷] や [プリント] などの印刷を実行するメニューを選択します。
3 [印刷] または [プリント] ダイアログボックスが表示されたら、[プロパティ]、[オプション]、または [設定] などのボタンをクリックします（ボタン名は、アプリケーションによって異なることがあります）。
4 必要に応じて設定を変更します。

お使いのアプリケーション側での設定が、プリンタプロパティの原稿タイプ、用紙サイズ、または原稿の向きの設定よりも優先される場合があります。

Windows からプリンタプロパティを開く

Windows からプリンタプロパティを開いて設定を行うと、アプリケーションからそれらを変更しない限り、その設定はすべての印刷ジョブに適用されます。

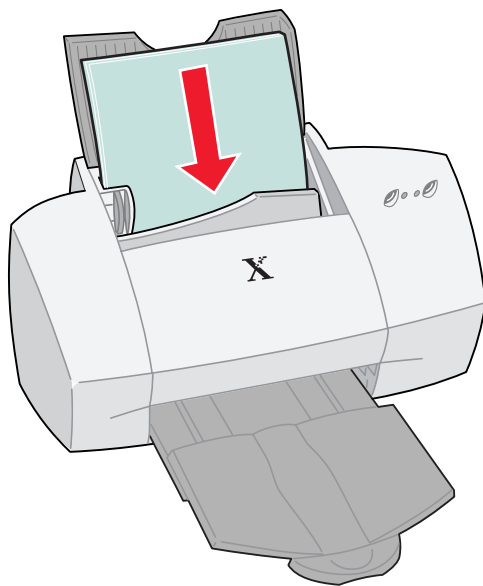
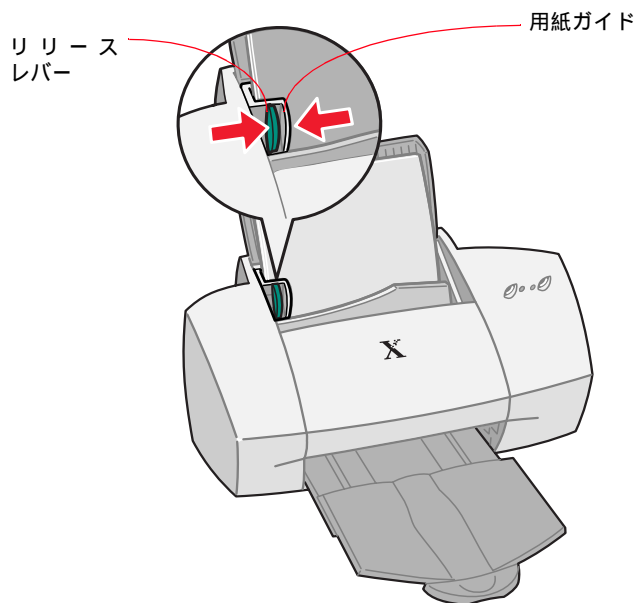
1 タスクバーの [スタート] メニューから、[設定] を選び、[プリンタ] をクリックします。
2 プリンタウインドウで、[Fuji Xerox Jet Wind 500C] アイコンを右クリックします。
3 メニューから [プロパティ] を選択します。

普通紙への印刷

用紙をセットする

自動給紙口には、普通紙を約 100 枚セットできます。

弊社では A4 と B5 サイズの OA 用紙を消耗品として用意していますが､市販の OA 用紙（坪量 64 〜 90g/ ㎡のもの）も使用できます。

1 印刷面を手前に向け、用紙を自動給紙口の右側に合わせてセットします。

2 **左端の用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせ、用紙の幅に合わせます。**

プリンタ設定の確認

印刷しようとする用紙に適したプリンタ設定になっているかどうかを、次の手順で確認します。

1 アプリケーションの [ファイル] メニューを開きます。

2 [印刷] や [プリント] など、印刷を実行するメニューを選択します（ボタン名は、アプリケーションによって異なることがあります)。

3 [プリンタの設定] ダイアログボックスで [プロパティ]、[オプション]、または [設定] をクリックします。

標準の印刷画質で A4 サイズの普通紙に印刷する場合は、標準設定（出荷時のデフォルト設定）を変更する必要はありません。

アプリケーションからプリンタ設定を変更すると、設定がそのアプリケーションの印刷ジョブにのみ適用されます。すべての印刷ジョブに設定を適用する方法については、12 ページの「プリンタプロパティ」を参照してください。

高速印刷を行うには、[クイックプリント（600dpi)] を選択します。適正な印刷画質を得るには、[高画質（1200dpi)] を選択してください。ただし、印刷画質の設定は、印刷速度に影響を及ぼすことがあります。

特殊用紙への印刷

第 4 章

この章では、OHP フィルムや光沢紙などの特殊用紙への印刷について説明します。特殊用紙は、高温多湿、低温低湿の環境を避けてご使用ください。

弊社では、上記の * 印の付いている特殊用紙を消耗品としてご用意しています。
*** 印以外の特殊用紙は市販品をお買い求めください。なお、市販品は、最初に 1 枚印刷してみてからお使いになることをお勧めします。**

OHP フィルム

必ずインクジェットプリンタ用の OHP **フィルムをご使用ください。弊社のインクジェットプリンタ用** OHP **フィルムのご使用をお勧めします。**

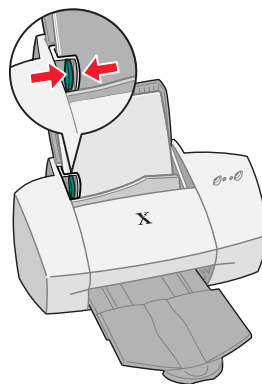
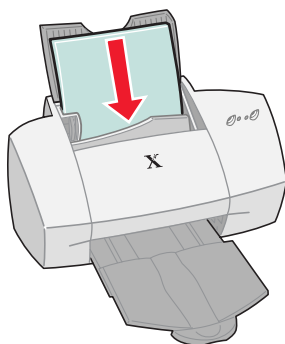
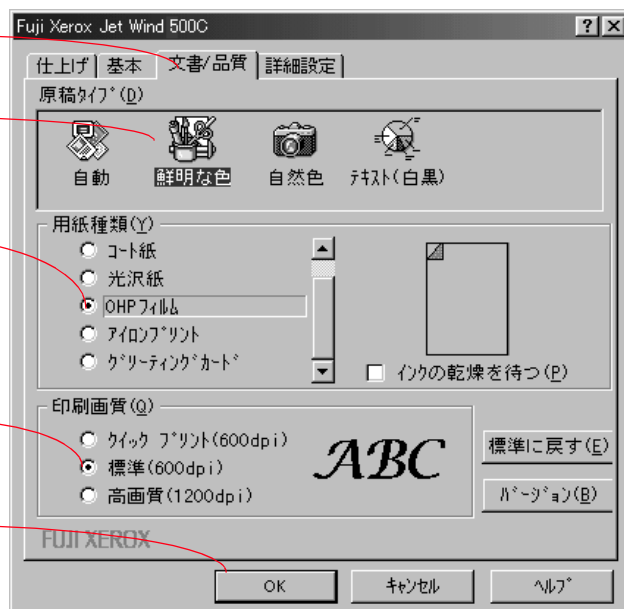
OHP **フィルムに印刷する場合は、以下の点にご注意ください。**

- **インクの乾燥が遅いため、**OHP **フィルムが排紙されたあと、排紙トレイから** OHP **フィルムを取り出してインクを乾燥させてください。**OHP **フィルムを排紙トレイに放置しておくと、次に排紙された** OHP **フィルムと重なってインクがにじみ、汚れの原因になります。**

次の手順で、OHP **フィルムに印刷します。**

1 OHP **フィルムを自動給紙口の右側に合わせてセットします。約** 10 **枚セットできます。**

a **印刷する面を手前に向けて、**OHP **フィルムをセットします。**

b **用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせて、**OHP **フィルムの幅に合わせます。**

2 OHP **フィルムの印刷用に、プリンタプロパティを変更します。**

ヒント

プリンタプロパティの開き方については、12 ページの「プリンタプロパティ」**を参照してください。**

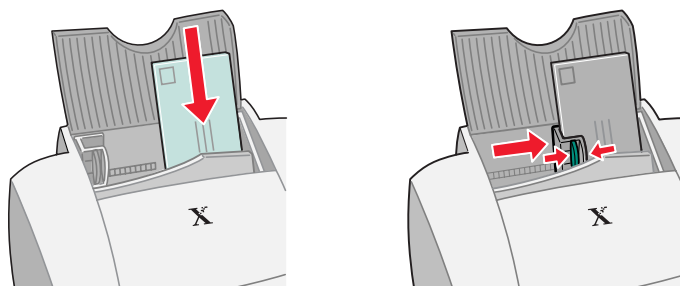
3 印刷します。

封筒、インデックスカード、はがき

次の手順で、封筒、インデックスカードまたは、はがきに印刷します。

1 封筒、インデックスカードまたは、はがきを自動給紙口の右側に合わせてセットします。封筒、インデックスカードは約 10 枚セットできます。はがきは約 30 枚セットできます。

a 印刷する面を手前に向けて、封筒、インデックスカードまたは、はがきをセットします。洋形封筒に横書きで印刷する場合は、切手を貼る位置が左上になるようにセットします。

b 用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせて、封筒、インデックスカードまたは、はがきの幅に合わせます。

和封筒または、はがきに縦書きに印刷する場合は、一般的に切手を貼る位置を右下にしてセットします。また、アプリケーションによって、封筒のふたを折り曲げたままで印刷するかどうかが異なります。封筒または、はがきをセットする前に、必ずアプリケーションのマニュアルを参照してください。

官製はがきを連続で複数枚印刷したとき、インクが乾ききらないために、2 枚め以降の裏面に汚れが付くことがあります。
次のいずれかの方法で、問題を解決してください。
•プリンタプロパティの設定で、「インクの乾燥を待つ」を選択する。
•プリンタプロパティの設定で、印刷画質を [高画質（1200dpi）] に設定する。
•次のはがきが印刷される前に、排紙トレイから取り出す。

2 封筒、インデックスカードまたは、はがきの印刷用に、プリンタプロパティを変更します。

3 印刷します。

ユーザ定義サイズの用紙

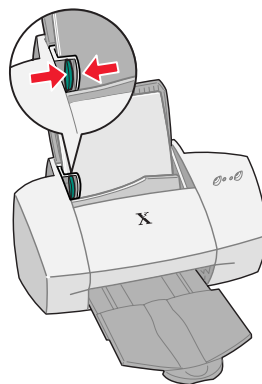
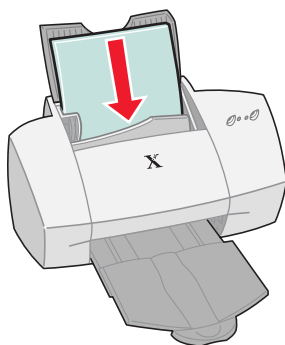
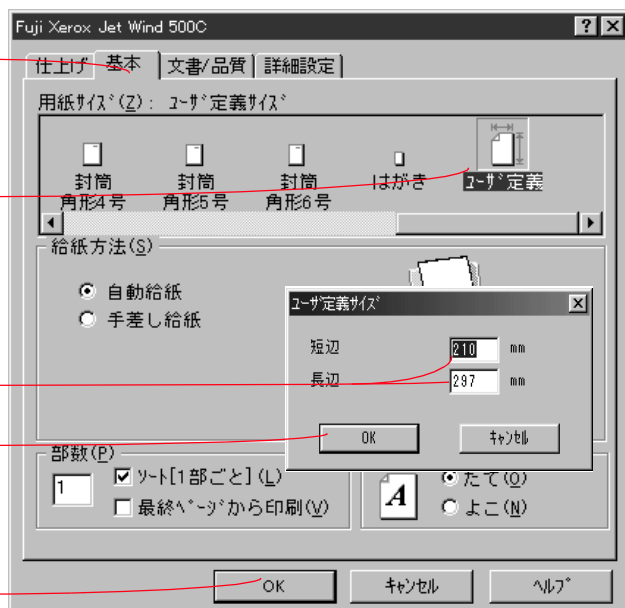
以下の範囲内の用紙をお使いください。

- 幅（短辺）　76 〜 216mm
- 長さ（長辺）127 〜 432mm

次の手順で、ユーザ定義サイズの用紙に印刷します。

1 定型サイズ以外の用紙を自動給紙口の右側に合わせてセットします。厚みのある用紙の場合は約 20 枚、普通紙の場合は約 100 枚セットできます。

a 印刷する面を手前に向けて、用紙をセットします。

b 用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせて、用紙の幅に合わせます。

2 **定形サイズ以外の用紙を使って印刷できるように、プリンタプロパティを変更します。**

3 **印刷します。**

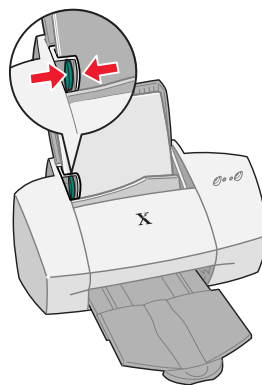
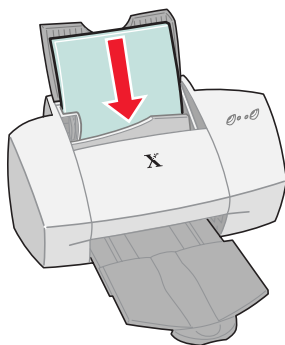
グリーティングカード

グリーティングカードを作成したアプリケーションでの設定が、プリンタドライバでの設定よりも優先されることがあります。詳細については、ご使用のアプリケーションに付属しているマニュアルを参照してください。

次の手順でグリーティングカードに印刷します。

1 グリーティングカードを自動給紙口の右側に合わせてセットします。約 10 枚セットできます。

a 印刷する面を手前に向けて、グリーティングカードをセットします。

b 用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせて、グリーティングカードの幅に合わせます。

2 グリーティングカードの印刷用に、プリンタプロパティを変更します。

［文書/品質］タブをクリックします。

［グリーティングカード］を選択します。

［OK］をクリックします。

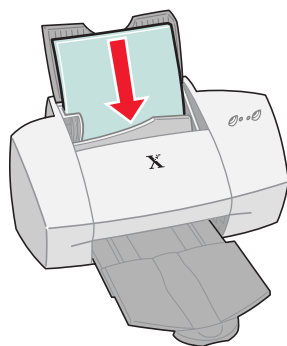
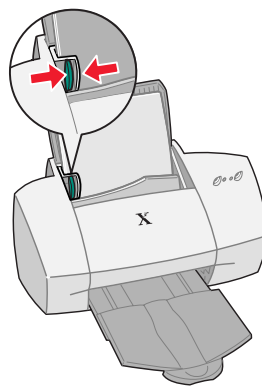
3 印刷します。

アイロンプリント紙

市販のアイロンプリント紙をご使用ください。
アプリケーションによっては、アイロンプリント紙の印刷結果が大きく異なることがあります。アイロンプリント紙に印刷する前に、普通紙を使って最初に 1 枚印刷してみることをお勧めします。

次の手順で、アイロンプリント紙に印刷します。

1 **アイロンプリント紙を自動給紙口の右側に合わせてセットします。約 25 枚セットできます。**

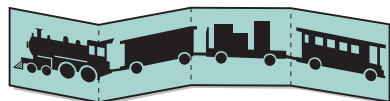
a 印刷する面を手前に向けて、アイロンプリント紙をセットします。

b 用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせて、アイロンプリント紙の幅に合わせます。

2 アイロンプリント紙の印刷用に、プリンタプロパティを変更します。

3 印刷します。

[用紙種類] で [アイロンプリント] を選択すると、文書のイメージが反転されて印刷されます。

長尺紙

適正な印刷結果が得られるように、インクジェットプリンタ専用の長尺紙をお使いください。ドットマトリックスプリンタ用の連続紙は、異なる種類のインク用に作成されているので、使用しないでください。

メモ

長尺紙に印刷するときは、長尺紙印刷対応のアプリケーションをご使用ください。

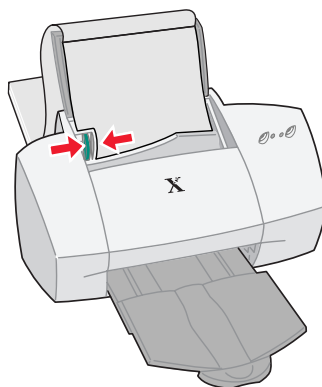
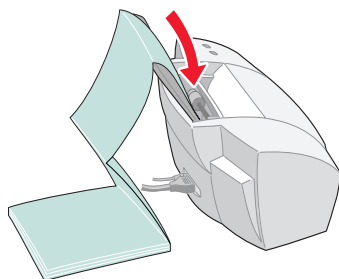
次の手順で、長尺紙に印刷します。

1 自動給紙口に用紙がセットされている場合は、用紙をすべて取り除きます。

2 長尺紙をセットします。

a 長尺紙をプリンタの後ろに置き、先端を自動給紙口に差し込みます。

b 用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせて、長尺紙の幅に合わせます。

メモ

給紙をスムーズに行うために、長尺紙はなるべくプリンタの底面と同じ高さに置いてください。

3 長尺紙の印刷用に、プリンタプロパティを変更します。

4 印刷します。

光沢紙

同梱のカラーカートリッジとブラックカートリッジの組み合わせ（4 色プリント）で、高画質なフォト印刷ができます。
より高画質な仕上がりを得るには、カラーカートリッジとフォトカートリッジ（別売）の組み合わせ（6 色プリント）でご使用ください。

ブラックカートリッジをフォトカートリッジに交換する場合は、手順 1 から操作を始めてください。ブラックカートリッジをそのまま使用する場合は、35 ページの手順 5 から操作を始めます。

カラー＋ブラックカートリッジの組み合わせ（4 色プリント）で、光沢紙に印刷するときは、[文書 / 品質] タブの [原稿タイプ] の設定を [テキスト（白黒）] 以外にしてください。

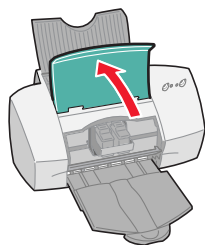
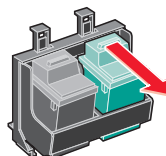
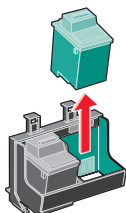
カラー＋ブラックカートリッジの組み合わせ（4 色プリント）は、単純なグラフィックスを含むテキストなどを、普通紙に印刷する場合に適しています。
カラー＋フォトカートリッジ（別売）の組み合わせ（6 色プリント）は、フォトや複雑なグラフィックスなどを光沢紙に印刷する場合に適しています。

ノズルのクリーニングを行うと、フォトの印刷画質を向上させることができます。詳細については、74 ページの「ノズルのクリーニング」を参照してください。

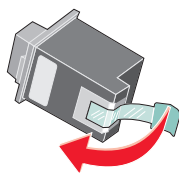
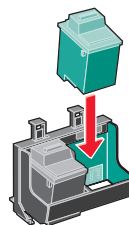
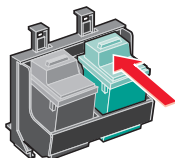
排紙された光沢紙をすぐに重ねるとくっつきます。次のページが排紙される前に排紙トレイから取り除き、乾いてから重ねることをお勧めします。

次の手順で、光沢紙に印刷します。

1 ブラックカートリッジを取り外します。

a フロントカバーを開きます。

b ブラックカートリッジをカチッと音がするまで手前に引きます。

c ブラックカートリッジをプリンタからまっすぐに持ち上げてカートリッジキャリアから取り外します。

d ブラックカートリッジをカートリッジ保管箱に収納します。

2 フォトカートリッジを取り付けます。

a カートリッジの金属部を覆っているステッカーと透明なテープをはがします。

b フォトカートリッジをカートリッジキャリアに取り付けます。

c カチッと音がするまで、カートリッジをしっかりとはめ込みます。

3 **カートリッジの取り付け、または交換に合わせて、ステータスモニターの設定を更新します。**

ヒント

Windows 95 またはWindows 98 からステータスモニターを開く方法については、10 ページの「ステータスモニター」を参照してください。

4 **画面上の指示に従って、カートリッジの取り付けを完了します（詳細については、68 ページの「プリントカートリッジの取り付けを完了する」を参照してください）。**

メモ

カートリッジを交換すると、プリントヘッドのレジ調整が必要になります。レジ調整を行う前に、自動給紙口に用紙をセットしてください。

5 光沢紙を自動給紙口の右側に合わせてセットします。約 25 枚セットできます。

a　印刷する面を手前に向けて、光沢紙をセットします。

b　用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせて、光沢紙の幅に合わせます。

6 光沢紙の印刷用に、プリンタプロパティを変更します。

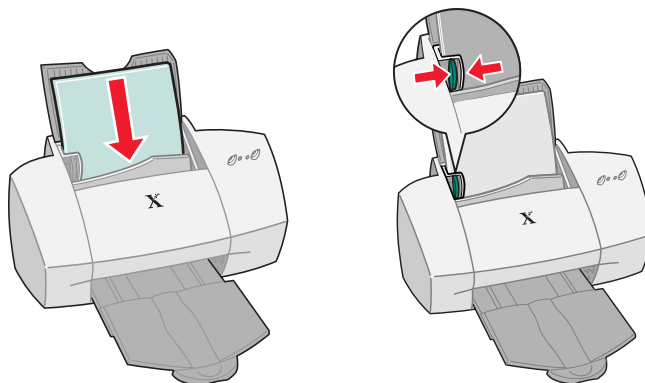
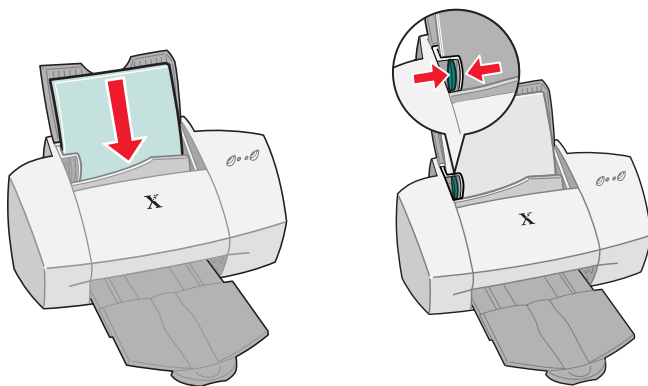
7 印刷します。

コート紙

弊社のインクジェットプリンタ用コート紙のご使用をお勧めします。
次の手順でコート紙に印刷します。

1 コート紙を自動給紙口の右側に合わせてセットします。約 25 枚セットできます。

a 印刷する面を手前に向けて、コート紙をセットします。

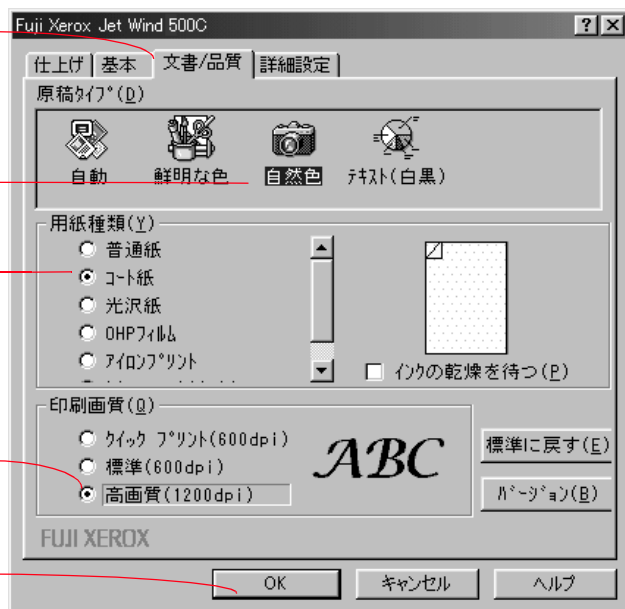
b 用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせて、コート紙の幅に合わせます。

2 コート紙の印刷用に、プリンタプロパティを変更します。

[文書 / 品質] タブをクリックします。

[自然色] を選択します。

[コート紙] を選択します。

[高画質（1200 dpi）] を選択します。

[OK] をクリックします。

3 印刷します。

ラベル紙

適正な印刷結果を得るには、インクジェットプリンタ用のラベル紙をご利用ください。印刷は、自動給紙口と手差し給紙口のどちらからでも行うことができます。

ラベル紙に印刷する場合は、次の点に注意してください。

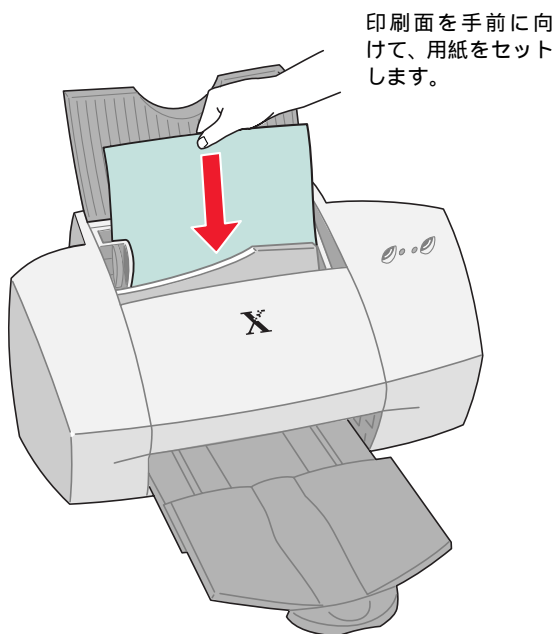
- A4 またはレターサイズを使用してください。
- 使用するアプリケーションに対応したサイズのラベル紙を使用してください。
- 良好な状態で保存されたラベル紙を使用してください。
- ラベルの切り取り線の上に印刷を行わないでください。なお、切り取り線から少なくとも 1mm の余白を確保してください。
- 裏側がツルツルしているラベル紙を使用しないでください。
- 接着面がプリンタに触れないように注意してください。
- ラベルがはがれていないラベル紙を使用してください。ラベルがはがれた箇所のあるラベル紙を使用すると、印刷中にそこから残りのラベルがはがれて、プリンタが故障する原因になります。

特殊用紙の手差し給紙

特殊用紙に印刷する場合、用紙は自動給紙口にセットして、印刷することをお勧めします。ただし、お使いの特殊用紙が自動給紙口に正しく給紙されない場合は、手差し給紙口を使用してください。

手差し給紙をする場合は、なるべくコシのある用紙のご使用をお勧めします。

次の手順に従って、手差し給紙口には一度に 1 枚ずつ用紙を給紙します。

1 用紙を手差し給紙口の右側に合わせてセットします。

2 プリンタが自動的に用紙を送り込むまで、用紙を手差し給紙口に挿入します。

用紙はまっすぐに給紙してください。まっすぐに給紙できなかった場合は、用紙再セット / 排出ボタンを押して用紙を排出し、まっすぐになるように給紙し直してください。

その他の印刷方法

第 5 章

Jet Wind 500C では、両面印刷、まとめて 1 枚（N アップ）、小冊子作成、拡大連写の各機能を使って印刷することができます。

両面印刷

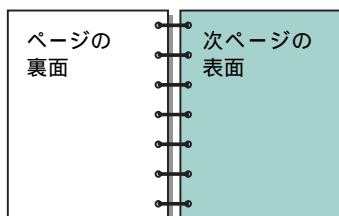
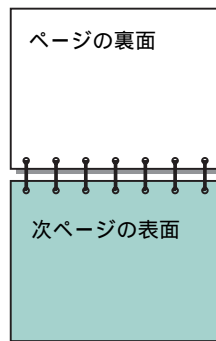
ページの一辺をとじるフォーマットで両面印刷をするように、プリンタドライバを設定できます。この機能を使うと用紙を節約することができます。

とじ方について

両面印刷を行う場合に、文書のとじ方によって異なる印刷方法を指定できます。ここではとじ方について説明します。

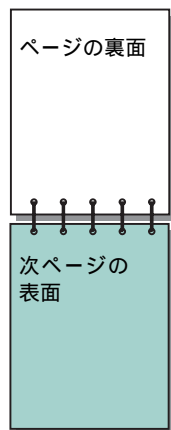
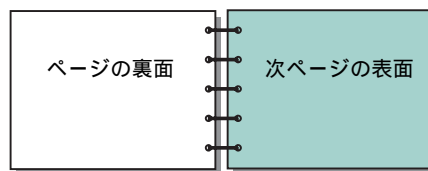
長辺とじ

原稿をたて長（ポートレート）に印刷した場合は印刷ページの左側をとじ、原稿をよこ長（ランドスケープ）に印刷した場合は印刷ページの上側をとじます。

下の図は、長辺とじの例を示したものです。

ご使用のアプリケーション側での設定が、プリンタプロパティの給紙方法、用紙サイズ、または原稿の向きの設定よりも優先されることがあります。

短辺とじ

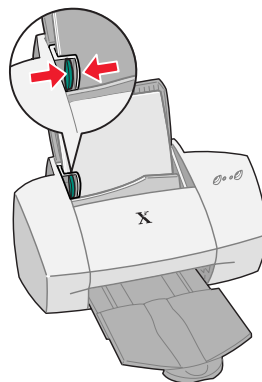
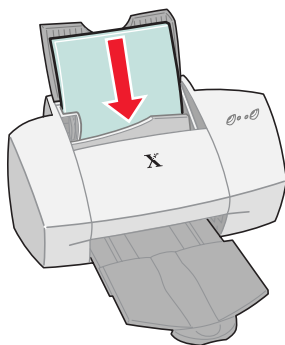
原稿をたて長（ポートレート）に印刷した場合は印刷ページの上側をとじ、原稿をよこ長（ランドスケープ）に印刷した場合は印刷ページの左側をとじます。

下の図は、短辺とじの例を示したものです。

印刷手順

次の手順で両面印刷を行います。

1 **用紙を自動給紙口の右側に合わせてセットします。普通紙は約 100 枚セットできます。**

a **印刷する面を手前に向けて、用紙をセットします。**

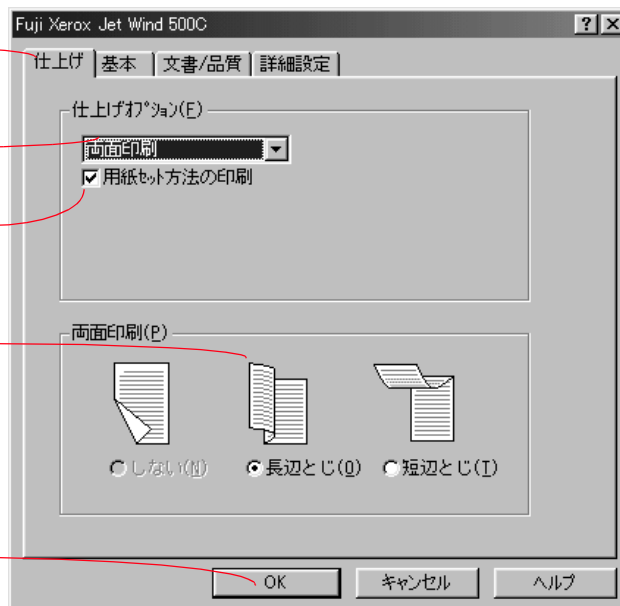
b **用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせて、用紙の幅に合わせます。**

2 両面印刷用に、プリンタプロパティの設定を変更します。

[仕上げ] タブをクリックします。

[両面印刷] を選択します。

[用紙セット方法の印刷] が選択されているか確認します。

ページのとじ方を選択します。詳細については、40 ページの「両面印刷」を参照してください。

[OK] をクリックします。

プリンタプロパティの開き方については、12 ページの「プリンタプロパティ」を参照してください。

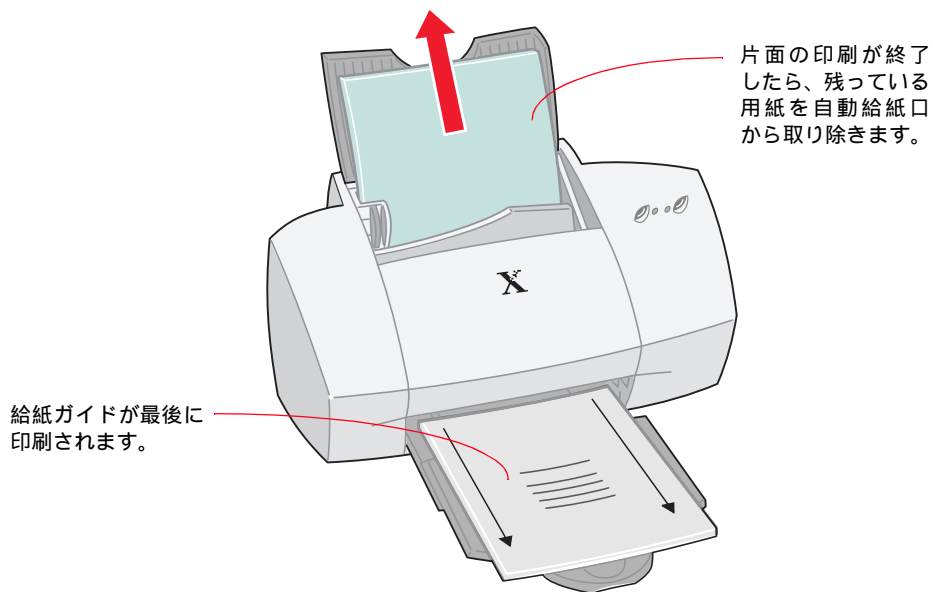
[用紙] タブで選択された印刷方向によって、[仕上げ] タブの [両面印刷] 枠内のイメージが変わり、どのように印刷されるかを示します。

ヒント

[用紙セット方法の印刷] を選択すると、片面印刷後に給紙ガイドが自動的に印刷されます。給紙ガイドには、もう一方の面を印刷するための用紙の挿入方向が示されています。コンピュータの画面にも両面印刷時の用紙のセット方法が表示されますので、簡単に両面印刷ができます。
[用紙セット方法の印刷] を選択しないと、給紙ガイドは印刷されません。操作に慣れて、給紙ガイドが不必要な場合は、給紙ガイドを使わずに両面印刷をすることもできます。

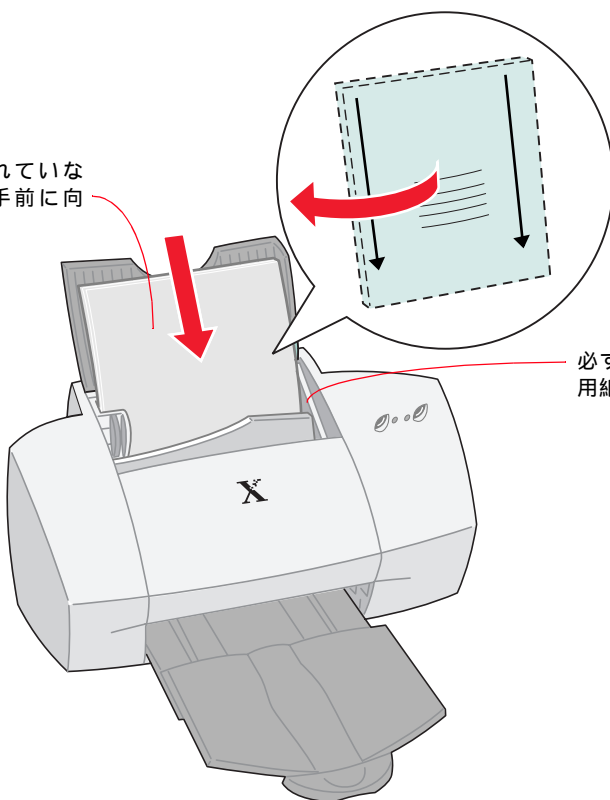
3 **印刷します。**

両面印刷する文書の片面（表面）の印刷を終了すると、最後に給紙ガイドが自動的に印刷されます。コンピュータの画面上には、給紙ガイドを用いた用紙のセット方法が表示されます。

手順 2 で [用紙セット方法の印刷] を選択しなかった場合は、給紙ガイドは印刷されません。

4 **自動給紙口に残っている用紙を取り除きます。**

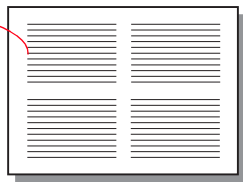
5 片面（表面）に印刷された用紙と給紙ガイドを、排紙された状態のまま重ねて、給紙ガイドに示された矢印が下向きになるようにし、印刷されていない面が手前に向くように裏返して、自動給紙口にセットします。

給紙ガイドを印刷した場合は、必ず給紙ガイドを表面に印刷された用紙と一緒にセットしてください。セットしないと、裏面印刷後に用紙補給のメッセージが表示されます。

設定を長辺とじにするか、または短辺とじにするかによって、印刷される給紙ガイドに示される矢印の向きが異なります。

6 [OK] をクリックすると、もう一方の面（裏面）が印刷されます。

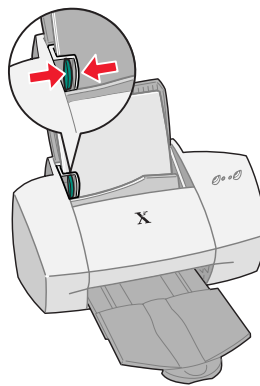
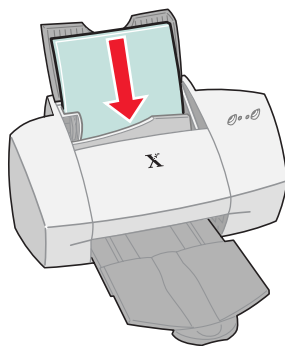
7 **両面印刷が完了したら、プリンタプロパティの設定を片面印刷に戻します。**

まとめて１枚（N アップ）

１ページに複数のページ画像を並べて印刷できます。各ページ画像の向き（原稿の向き）および並べたページ画像の境界線の枠の有無を指定できます。

次の手順で用紙１枚に複数ページを印刷します。

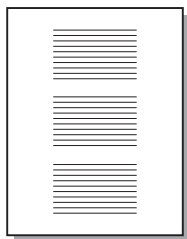
1 **用紙を自動給紙口の右側に合わせてセットします。普通紙は約 100 枚セットできます。**

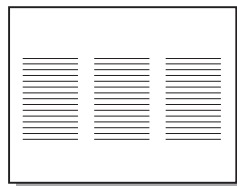
a 印刷する面を手前に向けて、用紙をセットします。

b 用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせて、用紙の幅に合わせます。

まとめて 1 枚（N アップ）の印刷を行う場合は、用紙サイズは A4 サイズまたはレターサイズに限られます。

2 **原稿の向きを選択します。ここでいう原稿の向きは、印刷される用紙の方向ではなく、アプリケーションで指定されたページ画像の方向になります（以下の例を参照）。**

たとえば、3 つのページ画像を印刷する場合には、アプリケーションで設定されたページ画像の原稿の向きによって、用紙の方向は次のように決まります。

各ページ画像がよこ方向（ランドスケープ）で印刷された場合

各イメージの向きがよこ方向（ランドスケープ）の場合は、用紙の余白を最小にするために、自動的に用紙のたて方向に印刷されます。

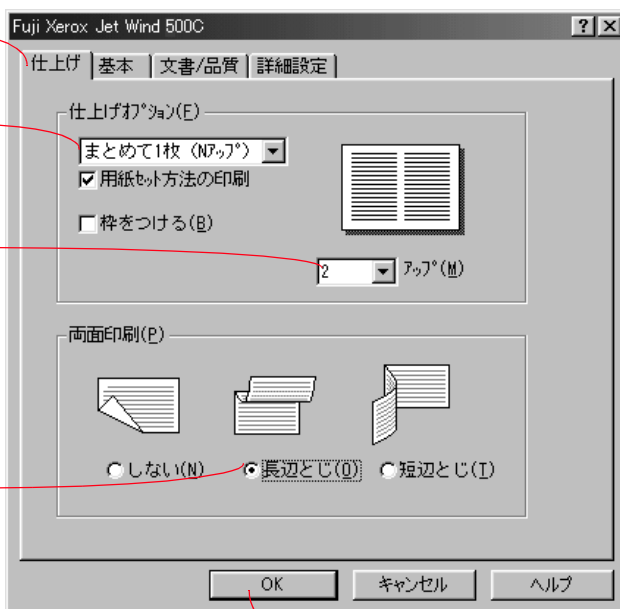
各ページ画像がたて方向（ポートレート）で印刷された場合

各イメージの向きがたて方向（ポートレート）の場合は、用紙の余白を最小にするために、自動的に用紙のよこ方向に印刷されます。

3 まとめて1枚（Nアップ）の印刷用に、プリンタプロパティの設定を変更します。

[仕上げ] タブをクリックします。

[まとめて 1 枚（N アップ）] を選択します。

1ページに印刷するページ数を[アップ]リストボックスで選択します。どのように印刷されるかを印刷ページのイメージで見ることができます。

両面印刷を行う場合は、[長辺とじ]、または [短辺とじ] を選択します。片面だけに印刷する場合は、[しない] を選択します。

[OK] をクリックします。

メモ

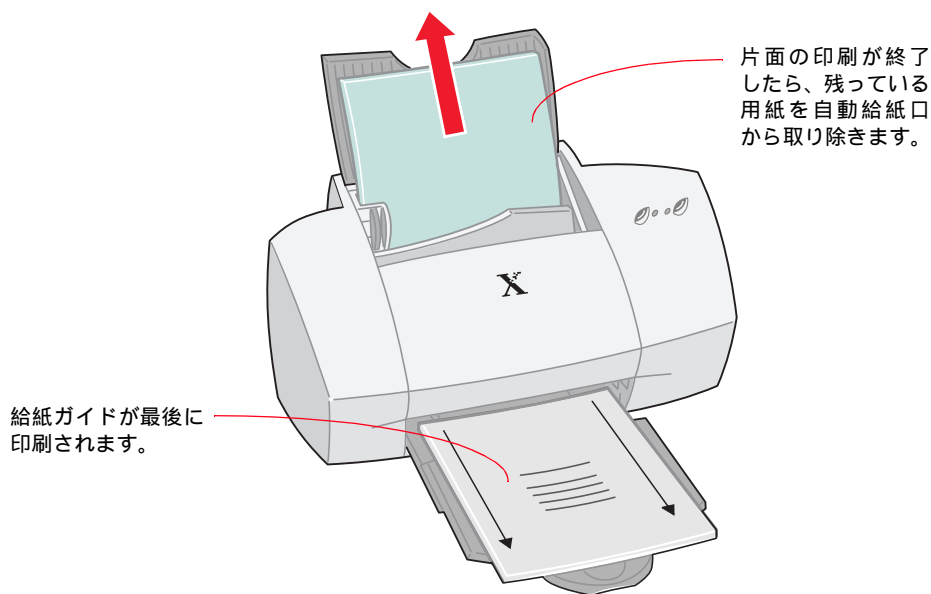
並べたページ画像の境界線の枠を印刷する場合、[枠をつける] を選択します。どのように印刷されるかを印刷ページのイメージで見ることができます。

ヒント

両面印刷を行う場合は、[用紙セット方法の印刷] を選択すると、片面印刷後に給紙ガイドが自動的に印刷されます。給紙ガイドには、もう一方の面を印刷するための用紙の挿入方向が示されています。コンピュータの画面にも両面印刷時の用紙のセット方法が表示されますので、簡単に両面印刷ができます。
[用紙セット方法の印刷] を選択しないと、給紙ガイドは印刷されません。操作に慣れて、給紙ガイドが不必要な場合は、給紙ガイドを使わずに両面印刷をすることもできます。

4 **印刷します。**
プリンタ設定を片面印刷用に設定した場合は、これで印刷が完了しました。
プリンタ設定を両面印刷用に設定した場合は、手順５に進みます。

5 **片面（表面）の印刷が終了して、最後に給紙ガイドが自動的に印刷されたら、自動給紙口に残っている用紙を取り除きます。**
コンピュータの画面上には、給紙ガイドを用いた用紙のセット方法が表示されます。

手順 3 で [用紙セット方法の印刷] を選択しなかった場合は、給紙ガイドは印刷されません。

6 片面（表面）に印刷された用紙と給紙ガイドを、排紙された状態のまま重ねて、給紙ガイドに示された矢印が下向きになるようにし、印刷されていない面が手前に向くように裏返して、自動給紙口にセットします。

給紙ガイドを印刷した場合は、必ず給紙ガイドを表面に印刷された用紙と一緒にセットしてください。セットしないと、裏面印刷後に用紙補給のメッセージが表示されます。

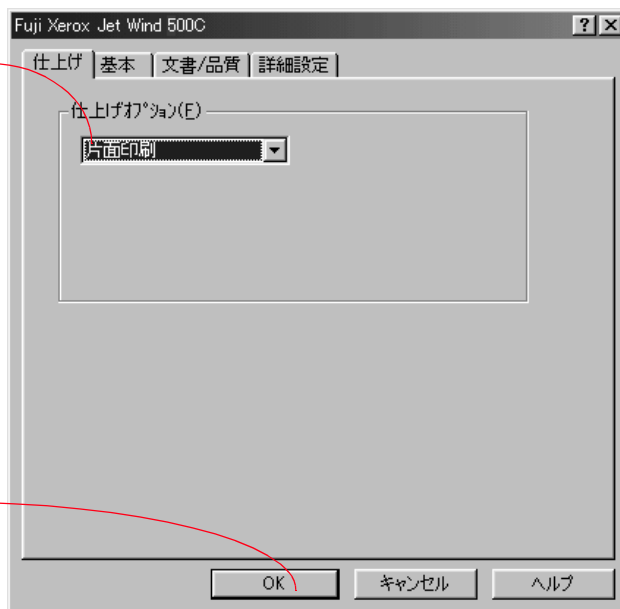
設定を長辺とじにするか、または短辺とじにするかによって、印刷される給紙ガイドに示される矢印の向きが異なります。

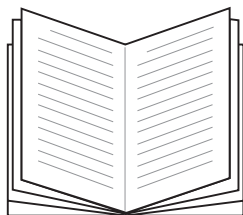
排紙された用紙をそのまま重ねて、給紙ガイド上の矢印が下向きになるように持ち、裏返します。

印刷されていない面を手前に向けます。

必ず自動給紙口の右側に用紙を揃えてください。

7 [OK] **をクリックすると、もう一方の面（裏面）が印刷されます。**

8 **まとめて１枚（N　アップ）の印刷が終了したら、プリンタプロパティの設定を片面印刷に戻します。**

小冊子作成

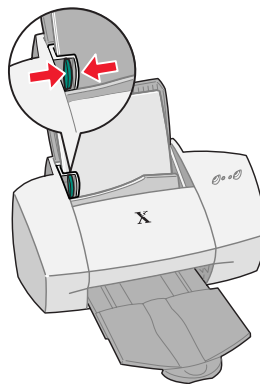
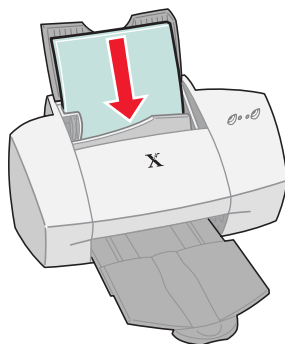
小冊子にできるように印刷できます。

[小冊子作成] を選択する場合は、文書作成アプリケーションで、文書のページサイズを A5 またはステートメントにしてください。[小冊子作成] で作成できる用紙サイズは、A4 またはレターサイズに限られます。

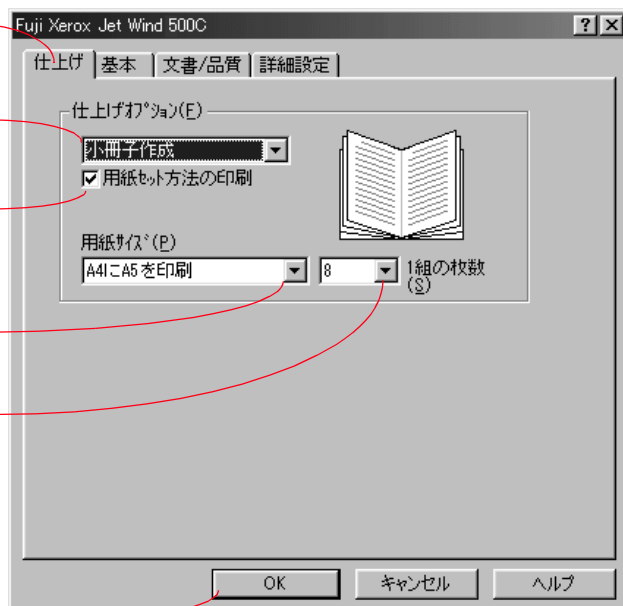
原稿はたて長（ポートレート）にしてください。原稿がよこ長（ランドスケープ）の場合は、小冊子作成の機能を使って印刷できません。

次の手順で小冊子にできるように印刷します。

1 **用紙を自動給紙口の右側に合わせてセットします。普通紙は約 100 枚セットできます。**

a 印刷する面を手前に向けて、用紙をセットします。

b 用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせて、用紙の幅に合わせます。

2 小冊子作成の印刷用に、プリンタプロパティの設定を変更します。

ヒント

[用紙セット方法の印刷] を選択すると、片面印刷後に給紙ガイドが自動的に印刷されます。給紙ガイドには、もう一方の面を印刷するための用紙の挿入方向が示されています。コンピュータの画面にも両面印刷時の用紙のセット方法が表示されますので、簡単に両面印刷ができます。
[用紙セット方法の印刷] を選択しないと、給紙ガイドは印刷されません。操作に慣れて、給紙ガイドが不必要な場合は、給紙ガイドを使わずに両面印刷をすることもできます。

メモ

厚紙に印刷する場合は、[1 組の枚数] の値を小さくしてください。

メモ

[仕上げ] タブで [用紙サイズ] の設定を変更すると [基本] タブでの用紙サイズ設定が無効になります。

3 印刷します。

両面印刷する文書の片面（表面）の印刷を終了すると、最後に給紙ガイドが自動的に印刷されます。コンピュータの画面上には、給紙ガイドを用いた用紙のセット方法が表示されます。

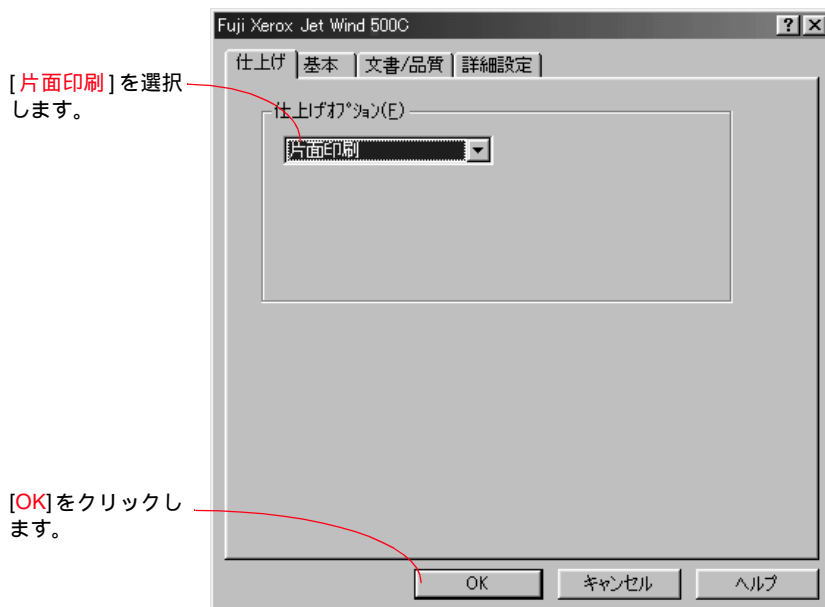
手順２で [用紙セット方法の印刷] を選択しなかった場合は、給紙ガイドは印刷されません。

4 **片面（表面）に印刷された用紙と給紙ガイドを、排紙された状態のまま重ねて、給紙ガイドに示された矢印が下向きになるようにし、印刷されていない面が手前に向くように裏返して、自動給紙口にセットします。**

メモ　給紙ガイドを印刷した場合は、必ず給紙ガイドを表面に印刷された用紙と一緒にセットしてください。セットしないと、裏面印刷後に用紙補給のメッセージが表示されます。

メモ　設定を長辺とじにするか、または短辺とじにするかによって、印刷される給紙ガイドに示される矢印の向きが異なります。

5 [OK] **をクリックします。**

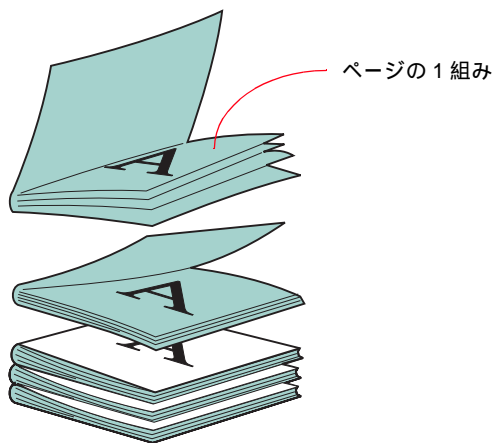
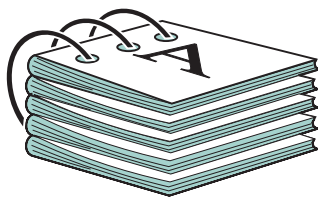
6 **小冊子作成の印刷が終了したら、プリンタプロパティの設定を片面印刷に戻します。**

小冊子のページをとじる

小冊子作成の印刷が完了したら、以下の手順に従ってページをとじます。

1 すべてのページをそれぞれの組みに分けます。

たとえば、[**1 組の枚数**] で「8」を選択した場合は、印刷されたすべての用紙を 8 枚ずつの組みに分けます。

2 各ページの組みをページの中央で折り畳みます。

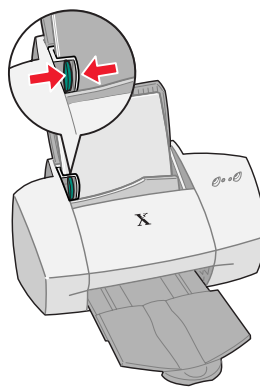
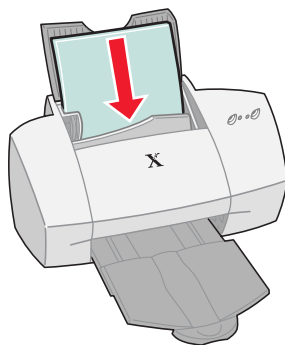
3 ページの組みを次の図に示すように重ねます。

4 ページの組みをとじて、小冊子の作成を完了します。

拡大連写

1 ページ分の画像を複数ページに分割し、拡大して印刷することができます。高画質に印刷する場合には、光沢紙のご使用をお勧めします。

次の手順で拡大連写印刷を行います。

1 用紙を自動給紙口の右側に合わせてセットします。普通紙は約 100 枚セットできます。

a 印刷する面を手前に向けて、用紙をセットします。

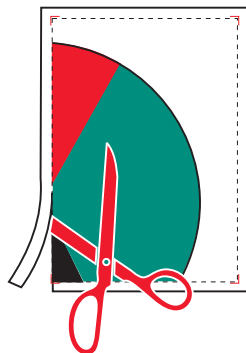
b 用紙ガイドとリリースレバーを一緒につまみながらスライドさせて、用紙の幅に合わせます。

拡大連写の印刷機能を使用する場合は、2 ページ以上の文書を印刷することができません。2 ページ以上の文書を印刷すると、最初のページだけを使用して拡大連写印刷が行われます。

2 拡大連写用に、プリンタプロパティの設定を変更します。

ヒント　選択する [**拡大枚数**] の値は、印刷後貼り合わせたときの幅と長さのページ数になります。たとえば、上記の例では、印刷後貼り合わせたときの幅と長さがそれぞれ 2 ページ分の大きさになります。[拡大枚数] の数値の変更によって、ダイアログボックス内のイラストイメージが変わり、どのように印刷されるかを見ることができます。

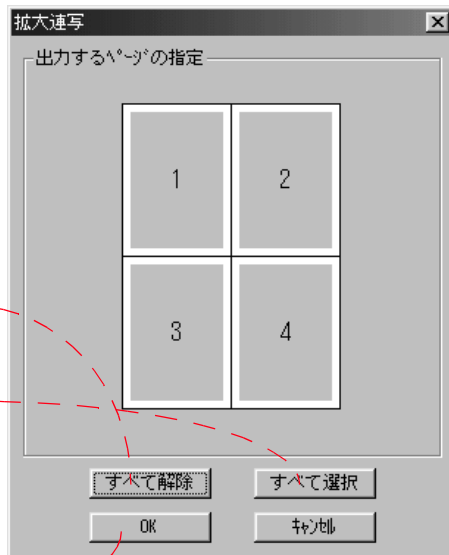
ヒント　並べたページ画像の境界線の枠を印刷する場合、[**のりしろ枠をつける**] を選択します。どのように印刷されるかを印刷ページのイメージで見ることができます。

3 印刷します。

4 貼り合わせるときに必要な部分を残して、印刷された画像の余白を切り抜きます。

5 印刷されたすべてのページを、のりやテープで貼り合わせます。

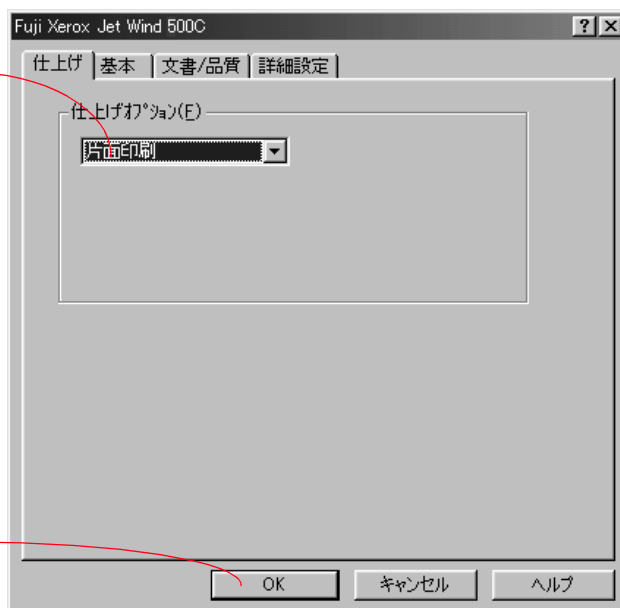
ページを指定して印刷する

1 次の手順で拡大連写印刷するページを指定します。

2 [拡大連写] 画面では、以下の設定を行います。

3 印刷します。

4 貼り合わせるときに必要な部分を残して、印刷された画像の余白を切り抜きます。

5 印刷されたページを、のりやテープで貼り合わせます。

6 **拡大連写の印刷が完了したら、プリンタプロパティの設定を片面印刷に戻します。**

プリンタの保守

第 6 章

この章では、プリントカートリッジの取り付けや取り外しなど、プリンタの保守（メンテナンス）方法について説明します。

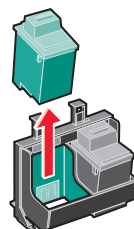
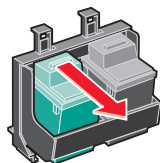
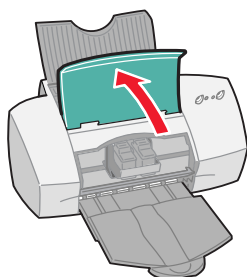
内容	ページ

プリントカートリッジの取り外し

1 次の手順で、プリントカートリッジを取り外します。

a　フロントカバーを開けます。カートリッジキャリアが自動的に中央の取り付け位置まで移動します。

b　交換するプリントカートリッジをカチッと音がするまで手前に引きます。

c　プリントカートリッジをカートリッジキャリアからまっすぐに上に持ち上げて取り外します。

2 取り外したカートリッジを保管、または廃棄します。

プリントカートリッジの保管

プリンタからプリントカートリッジを取り外した場合は、カートリッジ保管箱に収納してください。プリントカートリッジが劣化するのを防ぐことができます。

使用済みプリントカートリッジの処分

使用済みプリントカートリッジを振らないでください。プリントカートリッジ内に残っているインクが漏れるおそれがあります。使用済みプリントカートリッジは、耐水性のある袋に入れて廃棄してください。

3 「プリントカートリッジの取り付け」に進んでください。

プリントカートリッジの取り付け

適正な印刷結果を得るには、プリントカートリッジを取り付けたあとに、プリンタドライバの設定を更新します。

プリントカートリッジのインクが残り少なくなった場合

ブラックカートリッジを使用中の場合は、ブラックカートリッジ NS（エコノミーサイズ）またはブラックカートリッジ ND を購入してください。カラーカートリッジを使用中の場合は、カラーカートリッジ QS（エコノミーサイズ）またはカラーカートリッジ QD を購入してください。フォトカートリッジを使用中の場合は、フォトカートリッジ NS を購入してください。

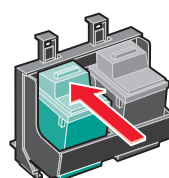
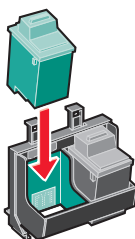
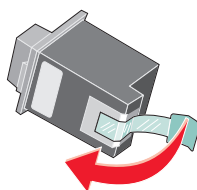
カートリッジキャリアの右側にはブラックカートリッジまたはフォトカートリッジを、左側にはカラーカートリッジを取り付けます。左右を逆に取り付けると正しく印刷できません。

プリントカートリッジの取り外しが必要な場合は、前ページの「プリントカートリッジの取り外し」を参照してください。

1 次の手順で、プリントカートリッジを取り付けます。

a 金属部を覆っているステッカーと透明なテープをはがします。

b プリントカートリッジをカートリッジキャリアに挿入します。

c カチッと音がするまで、カートリッジをしっかりとはめ込みます。

注記

プリントカートリッジの金属部に直接手を触れたり、金属部を取り除いたりしないでください。また、カートリッジキャリアのキャリア接触面に直接手を触れないでください。

プリントカートリッジがホルダー内で動く場合は、正しく取り付けられていません。もう一度、はめ直してください。

2 フロントカバーを閉じます。

プリントカートリッジの取り付けを完了する

カートリッジの取り付けを完了するには、ステータスモニターでカートリッジの種類、およびインクの残量の表示を更新する必要があります。

テキストのみの文書を印刷する場合は、フォトカートリッジではなく、ブラックカートリッジを使用します。

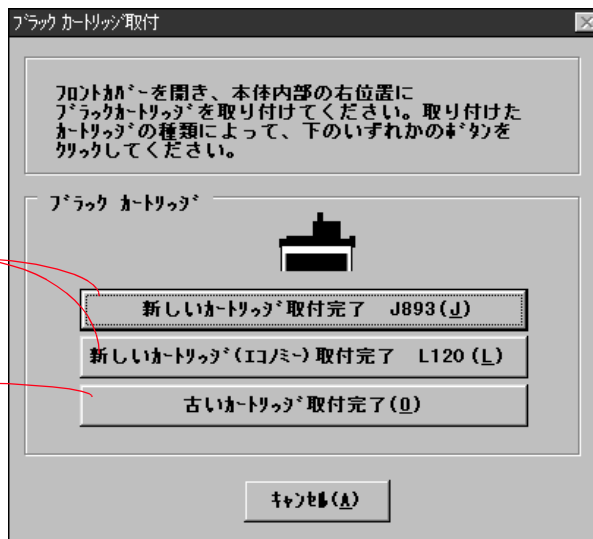
インク残量を調べるには、ステータスモニターの [カートリッジ] タブ、または [ステータス] タブをクリックします。

次の手順で、ステータスモニターでプリンタドライバを更新し、プリントカートリッジの取り付けを完了してください。

1 取り付けたプリントカートリッジによって、[ブラックカートリッジ取付]、[カラーカートリッジ取付]、[フォトカートリッジ取付] のいずれかを選択します。

2 取り付けたプリントカートリッジの詳細を選択します。

未使用のプリントカートリッジを取り付けた場合は、取り付けたプリントカートリッジによって、**いずれか**（カートリッジのパッケージやカートリッジに記載されている、名称や商品コードと同じ表示のもの）を選択します。

以前使ったことがあるプリントカートリッジを取り付けた場合は、[**古いカートリッジ取付完了**] を選択します。

3 未使用のプリントカートリッジを取り付けた場合は、適正な印刷結果が得られるようにプリントヘッドのレジ調整をします。詳細については、次ページの「プリントヘッドのレジ調整」を参照してください。

4 ２つのプリントカートリッジを取り付ける場合は、手順１と２を繰り返し、もう 1 つのカートリッジを取り付けます。

プリントカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。詳細については、67 ページの「プリントカートリッジの取り付け」を参照してください。

印刷画質の向上

印刷画質に満足できない場合は、プリントカートリッジを調整してください。プリントヘッドのレジ調整をすることで、印刷画質を向上できます。レジ調整をしても印刷画質に満足できない場合は、ノズルのクリーニングをしてください。

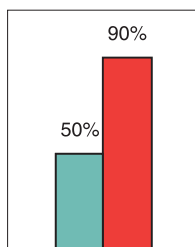
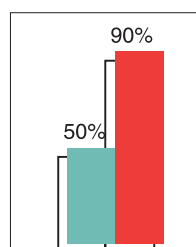
適正な印刷画質を得るには、インクジェットプリンタ専用の用紙を使用し、特殊加工が施してある面を手前に向けてセットしてください。

プリントヘッドのレジ調整

新しいプリントカートリッジを取り付けたあとに、プリントヘッドのレジ調整をします。その他、グラフィックスまたはテキストの黒い部分とカラーの部分の印刷がずれる場合も、プリントヘッドのレジ調整をする必要があります。

次の場合にも、プリントヘッドのレジ調整を行ってください。

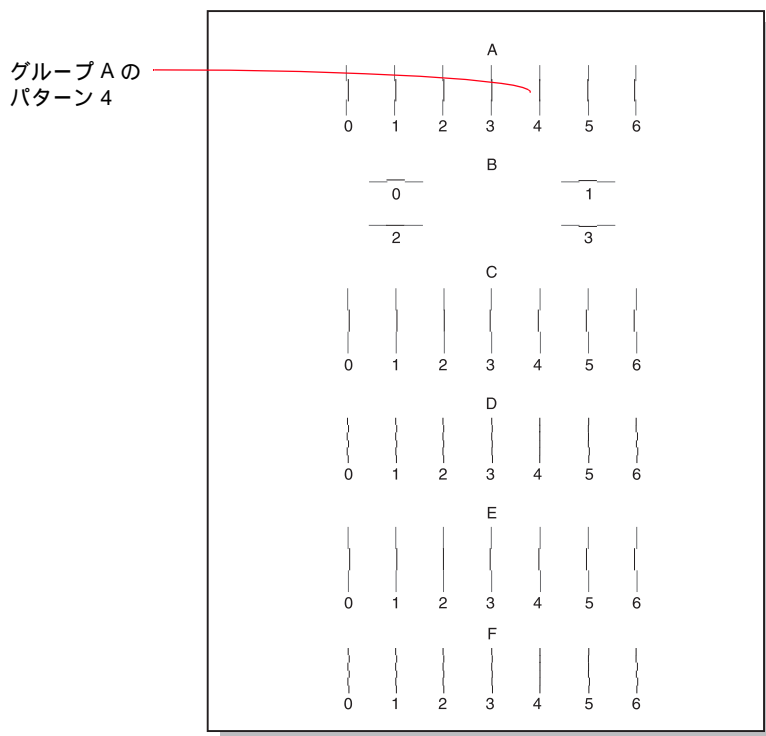
- 文字が左マージンで揃っていない
- 縦の線が途切れている
- モノクロの文字の周囲に黄色の縁取りが現れる

以下の図に、プリントヘッドが揃っている場合と、揃っていない場合の例を示します。

揃っている場合

揃っていない場合

次の手順で、プリントヘッドのレジ調整をします。

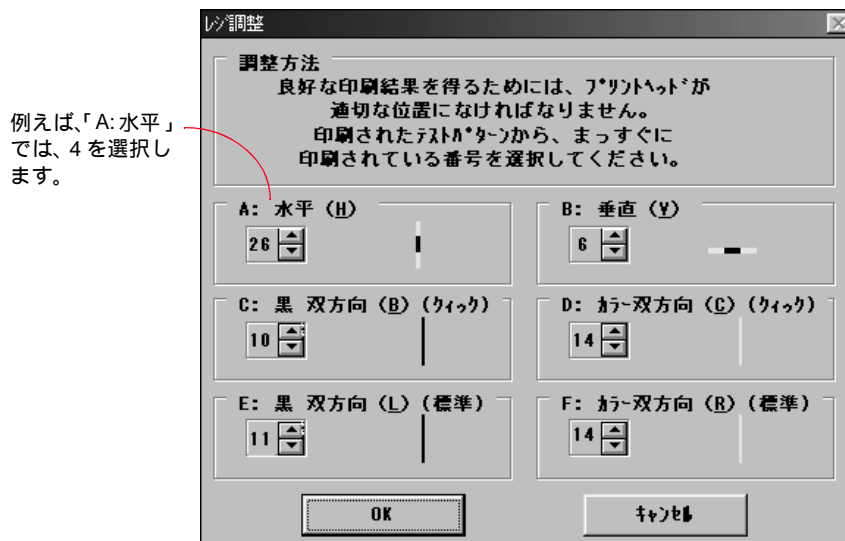
1 プリンタに A4 サイズの普通紙をセットします。

2 ステータスモニターを開いて（10 ページの「ステータスモニター」を参照）、プリントヘッドのレジ調整をします。

[レジ調整] ダイアログボックスが画面に表示されます。プリンタに取り付けられているカートリッジの組み合わせに応じて、以下のようなテストパターンが印刷されます。

3 テストページの各グループから、最も直線に近いテストパターンの番号を調べます。

たとえば、グループ A で最も直線に近いのはパターン 4 です。

レジの形状や番号は、上記の図とは異なる場合があります。

4 **印刷されたレジパターンから、もっとも直線に近いパターンの番号を、[レジ調整] ダイアログボックスに入力します。**

5 **すべてのパターンについて番号を入力したら、[OK] をクリックします。**

ノズルのクリーニング

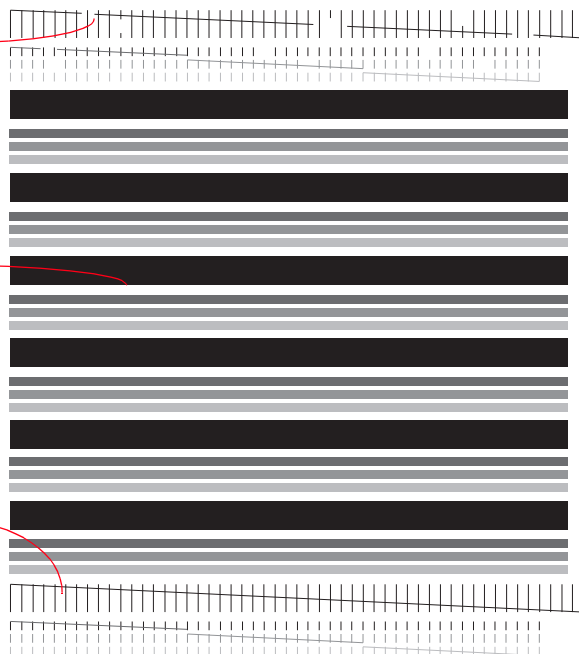
次のような場合に、ノズルのクリーニングをしてください。

・ノズルがつまっている疑いがある
・文字が完全に印刷されない
・印刷された文字やグラフィックスに白いスジがでる

次の手順でノズルのクリーニングをします。

1 A4 サイズの普通紙が自動給紙口にセットされているか確かめます。

2 ステータスモニターを開きます（10 ページの「ステータスモニター」を参照）。

用紙が自動的に給紙され、次のようなテストパターンが印刷されます。

3 **テストパターンを調べます。**

4 **印刷されたカラーバーの下の斜線が途切れている場合は、ノズルのクリーニングを再度行ってください。**
斜線が鮮明に印刷されたら、ノズルのクリーニングを終了してください。
ノズルのクリーニングを 3 回行っても、斜線が鮮明に印刷されない場合は、手順 5 に進んでください。

5 **プリントカートリッジを取り外してから、もう一度取り付けます。**

6 **ノズルのクリーニングを繰り返します。**

7 **線がまだ途切れている場合は、プリントカートリッジの接触面を拭き取ります。手順については、76 ページの「ノズルと接触面の拭き取り」を参照してください。**

ノズルと接触面の拭き取り

ノズルをクリーニングしても（74 ページの「ノズルのクリーニング」を参照）印刷結果が改善されない場合は、プリントカートリッジのノズルまたは接触面に乾いたインクが付着している可能性があります。

次の手順で、ノズルと接触面を拭き取ります。

1 プリンタからプリントカートリッジを取り外します。カートリッジの取り外し方については、66 ページの「プリントカートリッジの取り外し」を参照してください。

2 清潔な布をぬるま湯で湿らせて（ぬるま湯以外の液体を使用しないでください）、ノズルを含む金属部分を下図の矢印の方向にそっと拭きます。
カラーカートリッジを清掃するときは、色が混ざらないように一方向に拭いてください。

乾いて固まったインクを溶かすには、湿った布をノズルに 3 秒ほど押し当てます。そのあと、そっと拭き取ります。

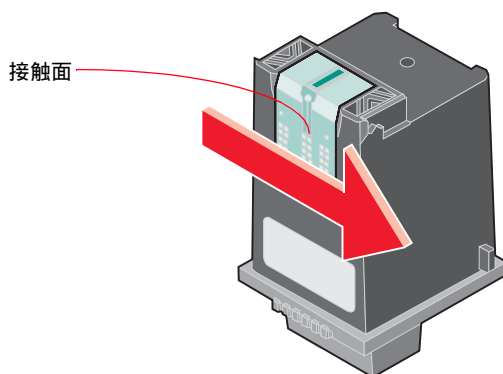
3 拭いた部分を乾かします。

4 別の清潔な布を水で湿らせて、接触面を含む金属部分を下図の矢印の方向にそっと拭きます。
カラーカートリッジを清掃するときは、色が混ざらないように一方向に拭いてください。

注記

ノズルと接触面は、同じ布の同じ部分で拭かないでください。

メモ

乾いて固まったインクを溶かすには、湿った布をノズルに 3 秒ほど押し当てます。そのあと、そっと拭き取ります。

5 拭いた部分を乾かします。

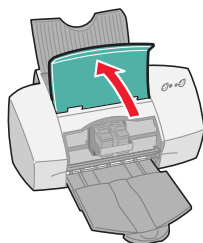
6 プリントカートリッジをプリンタに取り付け、もう一度ノズルのクリーニングをします。74 ページの「ノズルのクリーニング」を参照してください。

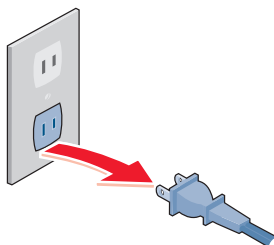
7 ノズルのクリーニングで印刷された線がまだ途中で切れている場合は、カートリッジキャリアの接触面を清掃してください。カートリッジキャリア接触面の清掃方法については、次ページの「カートリッジキャリアの接触面の清掃」を参照してください。

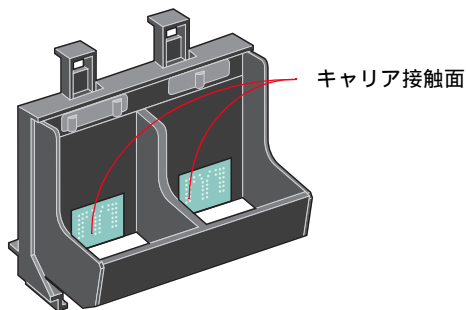
カートリッジキャリアの接触面の清掃

ノズルのクリーニングを行い、ノズルと接触面を拭き取っても印刷結果が改善されない場合は、カートリッジのキャリア接触面を清掃します。

次の手順で、カートリッジキャリアの接触面を清掃します。

1 フロントカバーを開きます。

2 プリントカートリッジを両方とも取り外します。詳細については、66 ページの「プリントカートリッジの取り外し」を参照してください。

3 プリンタの AC アダプターのプラグを電源コンセントから抜きます。

印刷していないときにフロントカバーを開けると、カートリッジキャリアが中央の取り付け位置に移動します。この状態で AC アダプターのプラグをコンセントから抜くと、カートリッジキャリアが中央の取り付け位置で停止します。

4 清潔な乾いた布で、カートリッジキャリアの接触面を拭きます。

5 プリントカートリッジを再び取り付けます。詳細については、67 ページの「プリントカートリッジの取り付け」を参照してください。

6 フロントカバーを閉じます。

7 AC アダプターのプラグを電源コンセントに差し込みます。

カートリッジキャリアの接触面を清掃しても印刷画質が改善されない場合は、新しいプリントカートリッジと交換してください。それでも印刷画質が改善されない場合は、プリンタ本体を調べる必要があります。弊社のカストマーサポートセンター（85 ページを参照）にご連絡ください。

プリントカートリッジの保管

プリントカートリッジをできるだけ長く使用し、プリンタを適正な状態で使用するには、次の点に注意してください。

- プリントカートリッジは、取り付け準備ができるまでパッケージから取り出さないでください。
- プリントカートリッジは、交換、清掃、またはカートリッジ保管箱で保管する場合を除き、プリンタから取り外さないでください。プリントカートリッジをプリンタから取り外して長時間放置すると、印字の状態が悪くなります。
- インク切れの場合でも、交換作業に取りかかれるまでは、プリントカートリッジを取り外さないでください。プリントカートリッジを取り付けずに印刷すると、プリンタが故障することがあります。
- プリントカートリッジにインクを補充しないでください。

USB ケーブルの使用

第 7 章

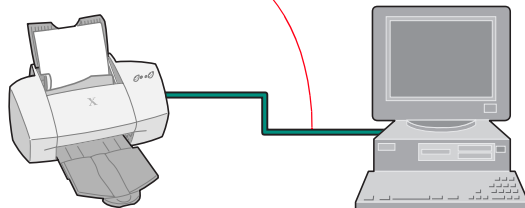
Jet Wind 500C には USB（Universal Serial Bus）インターフェイスを装備しています。USB は、新しいプラグアンドプレイ規格です。USB インターフェイスを使用すると、プリンタやスキャナなど、USB 対応の周辺機器を容易にパソコンに接続することが可能です。

Jet Wind 500C の USB 機能の特長

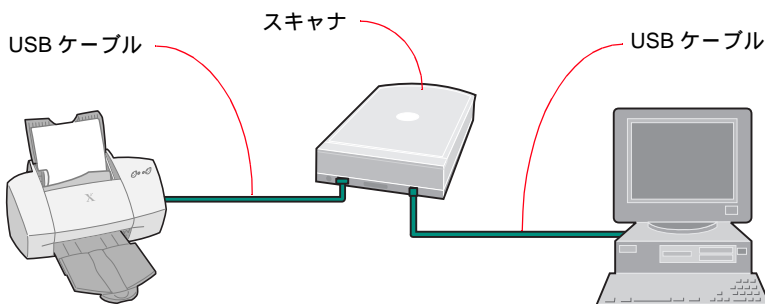
- Windows 98 をオペレーティングシステムとしてご使用の場合、USB ケーブルでプリンタを接続できます。その際、USB インターフェイスを使用するための専用プリンタドライバをインストールする必要はありません。『Jet Wind 500C セットアップガイド』に従ってドライバをインストールすれば、印刷先のポートを変更するだけで USB ケーブルを使用できます。
- 本プリンタに、パラレルケーブルと USB ケーブルの両方を使用して 2 台のコンピュータを接続した場合は、USB ケーブルが優先されます。パラレルケーブルを使って印刷する場合は、USB ポートをプリンタから取り外す必要があります。

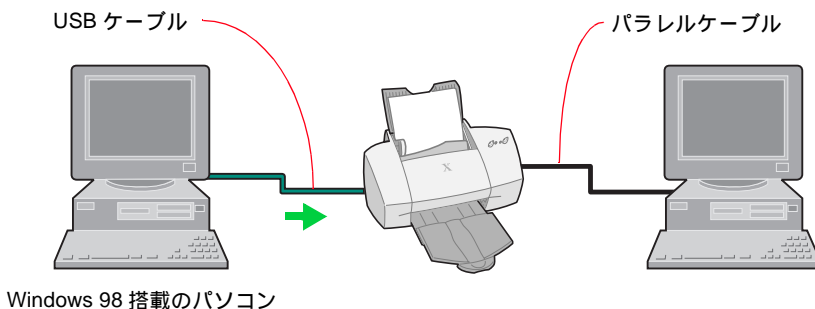
次ページにコンピュータとプリンタ、および他の周辺機器との接続例を示します。

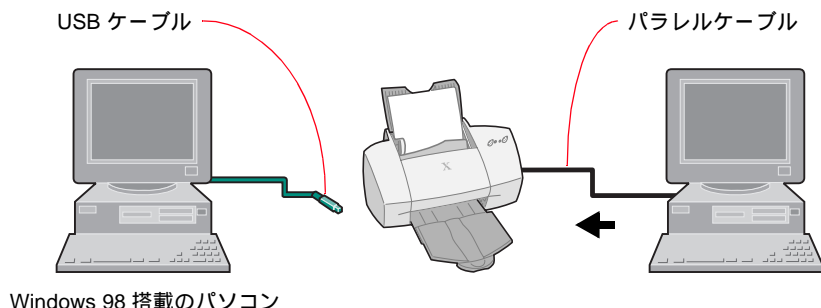
コンピュータ 1 台とプリンタ 1 台の場合

Windows 98 をご使用の場合は、USB、パラレルのどちらのケーブルでもプリンタと接続することができます。

『Jet Wind 500C セットアップガイド』に従ってケーブルを接続し、プリンタドライバをインストールしてください。

プリンタと USB 対応の周辺機器とコンピュータ 1 台の場合

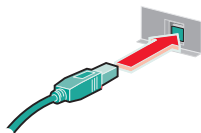
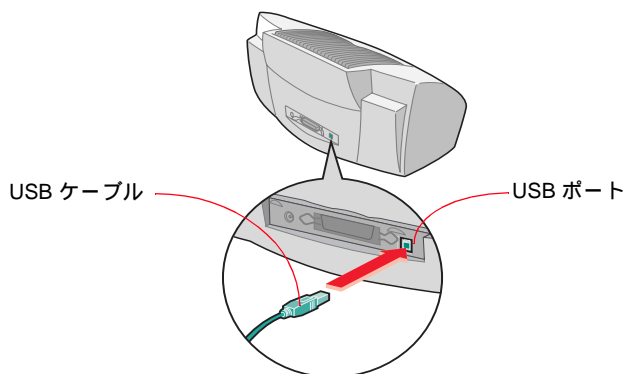
Windows 98 をご使用の場合で、USB 対応の他の周辺機器（たとえば、スキャナ）をお持ちの場合は以下の図のような接続が可能です。

プリンタ 1 台とコンピュータ 2 台の場合

本プリンタに、パラレルケーブルと USB ケーブルの両方を使用して 2 台のコンピュータを接続した場合は、USB ケーブルで接続されたコンピュータからだけ印刷できます。

パラレルインターフェイスから USB インターフェイスに切り替える前にプリンタの電源をいったん切って、USB ケーブルを接続してから再び電源を入れ直してください。詳細については、次ページの「USB ケーブルの接続」を参照してください。

パラレルケーブルを使って印刷する場合は、USB ケーブルで接続されたコンピュータの電源を切ってから、USB ケーブルを取り外してください。

パラレルケーブルから印刷する前に、必ずプリンタプロパティで［印刷先のポート］を LPTn に戻してください。通常は LPT1 に戻します。

USB ケーブルの接続

1 プリンタとコンピュータの電源を切っておきます。

2 USB ケーブルをコンピュータ背面の USB ポートに接続します。

3 ケーブルのもう一方の端をプリンタ背面の USB ポートに接続します。

4 コンピュータの電源を入れ、Windows 98 を起動します。

5 プリンタの電源を入れます。

6 ［スタート］メニューから［設定］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

7 ［プリンタ］ウインドウで［Fuji Xerox Jet Wind 500C］アイコンをクリックして、選択します。

8 ［ファイル］メニューから、［プロパティ］を選択します。

9 ［詳細］タブをクリックします。

10 ［印刷先のポート］ドロップダウンリストで［USB ポート］を選択します。

11 ［OK］をクリックします。

USB ケーブルの接続を確認するには、ステータスモニターの［ステータス］タブで［テストプリント］ボタンをクリックし、テストページを印刷してください。ステータスモニターを開く方法については 10 ページの「ステータスモニター」を参照してください。

トラブルシューティング

第 8 章

プリンタに問題が発生した場合は、86 ページからの表の中から該当する問題を探して、参照先のページにある処置をとってください。説明に沿って対処しても、なお問題が解決しない場合は弊社のカストマーサポートセンターにご連絡ください。

フリーダイヤル : 0120-50-2209
FAX : 03-3342-1551

フリーダイヤルは、土、日、祝日を除く 9 時 30 分～ 12 時、13 時～ 17 時にお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。また、お問い合わせは、日本国内のお客様に限らせていただきます。

ファクスでお問い合わせの場合は、ご質問内容、ご連絡先、ご使用の機種名を必ずご記入ください。

トラブルの分類	ページ
プリンタドライバに関する問題 ・ プリンタドライバの設定が印刷に適用されない ・ ステータスモニターの一部が灰色表示になっていて使用できない	 98 98
ローラーの清掃	99

印刷に関する一般的な問題

問題	対策
印刷速度が遅い	印刷速度が遅い場合は、次の方法を試してください。 ・ 印刷の解像度を下げます。 ・ テキスト（黒）のみを印刷している場合は、フォトカートリッジ（別売）ではなく、ブラックカートリッジを使用します。 ・ テキストのみを印刷している場合は、ハーフトーンの設定を [エアブラシ] から [ファインディザ] か [ラインアート] に変更します。[エアブラシ] を選択するとグラフィックスの画質は向上しますが、印刷速度は遅くなります。 ・ パソコンのメモリを解放、または増設します。 ・ 印刷している文書を調べてください。グラフィックスを含んでいる文書の印刷はテキスト（黒）に比べて印刷速度が遅くなります。
既存の文書が異なるフォントで印刷される	別のプリンタ用にフォーマットされた文書を印刷した場合は、異なるフォントが使用されることがあります。また、行区切りやページ区切りの情報が変更される場合もあります。文書を作成したアプリケーションで修正したあと、次に印刷するときのために変更内容を保存してください。
断続的に印刷される	詳しくは、プリンタプロパティのヘルプにある [双方向通信に関する問題] を参照してください。 プリンタプロパティのヘルプを開く方法については、12 ページの「プリンタプロパティ」を参照してください。

問題	対策
電源ランプが点灯し、用紙再セット / 排出ランプが点滅している	用紙切れか、紙づまりの可能性があります。画面上のエラーメッセージを確認してください。 用紙切れの場合 1 用紙をセットします。 2 用紙再セット / 排出ボタンを押します。 用紙がつまった場合 1 フロントカバーを開けます。 2 つまっている用紙を取り除きます。 3 用紙再セット / 排出ボタンを押します。 注記：用紙がプリンタ内部にあって、容易に取り除けない場合は、94 ページの「紙づまり」を参照してください。 以上の手順を行っても問題が解決しない場合は、ケーブルが破損しているか、IEEE 1284 仕様に適合していない可能性があります。詳細については、プリンタプロパティのヘルプにある [双方向通信に関する問題] を参照してください。 プリンタプロパティのヘルプの開き方については、12 ページの「プリンタプロパティ」を参照してください。
電源ランプが点滅し、用紙再セット / 排出ランプが 2 回ずつ点滅する	カートリッジキャリアが停止したか、用紙がつまっています。画面上のエラーメッセージを確認してください。 カートリッジキャリアが停止した場合は、次の手順に従います。 1 プリンタの電源を切ります。 2 しばらく待ってから、再びプリンタの電源を入れます。 用紙がつまっている場合は、次の方法で用紙を取り除いてください。 1 フロントカバーを開きます。 2 つまっている用紙を取り除きます。 3 用紙再セット / 排出ボタンを押します。
電源が入らない	電源が入らない場合は、プリンタと AC アダプターのプラグがしっかりと接続され、AC アダプターのプラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。接続を確認したうえで、なお電源が入らない場合は、弊社のカストマーサポートセンター（85 ページを参照）に連絡してください。
パラレルケーブル接続に関する問題	詳しくは、プリンタプロパティのヘルプにある [双方向通信に関する問題] を参照してください。 プリンタプロパティにあるヘルプを開く方法については、12 ページの「プリンタプロパティ」を参照してください。

問題	対策
プリンタ上のランプが両方とも点灯しているのに何も印刷されない	用紙は正しくセットされていますが、パラレルケーブルがパソコンに正しく接続されていない可能性があります。 1 AC アダプターのプラグをコンセントから抜きます。 2 パラレルケーブルが正しく接続されているかどうか確かめます。 3 AC アダプターのプラグをコンセントに差し込みます。
プリンタに電源が入っているのに何も印刷されない	次の点を確かめてください。 • 電源ランプが点灯しているか。 • 給紙口に用紙が正しくセットされているか。 • パラレルケーブルがしっかりとプリンタに接続されているか。 • 印刷を一時停止、または中止するように設定していないか。 1 [プリンタ] ウインドウから、[Fuji Xerox Jet Wind 500C] アイコンをダブルクリックします。 2 [プリンタ] メニューを選択し、[一時停止] にチェックマークが付いていないか確認します。 • テストページを印刷します。テストページを印刷するには次の手順に従います。 1 ステータスモニターを開きます。 2 [ステータス]タブで[テストプリント]ボタンをクリックします。 • テストページが印刷された場合は、プリンタは正常に動作しています。アプリケーション側でのプリンタ設定を調べてください。
プリンタの部品が足りない、または破損している	プリンタの部品が足りない、または破損している場合は、弊社のカストマーサポートセンター（85 ページ参照）にご連絡ください。
プリンタは印刷動作を行っているが、文書が全く印刷されない	次の点を確かめてください。 • プリントカートリッジが正しくプリンタに取り付けられているか。67 ページの「プリントカートリッジの取り付け」を参照してください。 • 取り付ける前に、プリントカートリッジからステッカーとテープを取り除いたか。 • プリンタに用紙がセットされているか。

印刷画質に関する問題

問題	対策
OHP に印刷された黒い部分に白いスジが出る	• アプリケーション側で塗りつぶしパターンの設定を変更してみてください。 • プリンタプロパティの [文書 / 品質] タブで、[高画質（1200dpi)] を選択します。
印刷が濃すぎる、インクがにじむ	次の点を確認してください。 • プリンタプロパティの[詳細設定]タブで[明度]のレベルを上げます。 • プリンタプロパティの [文書 / 品質] タブで [自然色] を選択します。 • プリンタプロパティの [文書 / 品質] タブで、印刷画質を上げます。 • プリンタプロパティの [用紙種類] で設定している用紙が、実際に使用している用紙と同じかどうか確かめます。 • 用紙がまっすぐに給紙されているか確かめます。 • 用紙にシワがないか確かめます。 • インクが乾いてから用紙を取り扱います。 • 排紙された用紙をトレイから取り除いて乾かします。 • プリンタプロパティの [文書 / 品質] タブで [インクの乾燥を待つ] を選択します。 • コーンスターチ等でコーティングされているはがきでカラー印刷をすると、乾きが比較的遅い黒インクがにじむ場合があります。[用紙種類] でコート紙か光沢紙を選択することをお勧めします。 • プリントカートリッジのノズルをクリーニングします。詳細については、74 ページの「ノズルのクリーニング」を参照してください。

問題	対策
印刷画質が全般的に良くない	次のいずれかの方法で問題を解決してください。 • インク切れか、インク残量が少なくなっている可能性があります。「カートリッジのインクが残り少なくなりました」というメッセージが画面に表示された場合は、新しいプリントカートリッジに取り替えます。67 ページの「プリントカートリッジの取り付け」を参照してください。 インク残量はステータスモニターの [カートリッジ] タブと [ステータス] タブに表示されます。 • [印刷画質] の設定を [クイックプリント（600 dpi)] 以外のものに変更します。 • プリントカートリッジのノズルをクリーニングします。詳細については、74 ページの「ノズルのクリーニング」を参照してください。 • プリントカートリッジが正しく取り付けられているか確かめます。67 ページの「プリントカートリッジの取り付け」を参照してください。 • 正しい種類の用紙を使用しているかを確かめます。 • [明度] および [コントラスト] を調節します。
縦の線が途切れている	以下の方法で、罫線やグラフなどの印刷画質を向上させます。 • プリントヘッドの位置を調整します。70 ページの「プリントヘッドのレジ調整」を参照してください。 • プリントカートリッジのノズルをクリーニングします。74 ページの「ノズルのクリーニング」を参照してください。 • プリンタプロパティの [文書 / 品質] タブで、[印刷画質] を [クイックプリント（600 dpi)] 以外のものに変更します。
封筒の印刷が濃すぎる、インクがにじむ	次の方法で解決してください。 1 [文書 / 品質] タブをクリックします。 2 [用紙種類] で [光沢紙] を選択します。 3 [OK] をクリックします。
封筒の先端や後端、左右の端の印刷画質が良くない	一般にプリンタでは極端に上下左右に片寄った部分には印字できません。封筒の端まできれいに印刷するには、最低限のマージンを確保してください。 • 左右のマージン 封筒のサイズを問わず、左右 3.17mm 以上のマージンが必要です。 • 先端と後端のマージン 印刷の先端マージンは、3.17mm 以上必要です。 印刷の後端マージンは、19.05mm 以上必要です。

問題	対策
ページ上の文字が汚れる	次の方法で問題を解決してください。 • プリンタが次のページを排紙したときにインクのしみが付く場合は、前ページのインクが乾く前に次のページが排紙され、重なったためです。[文書 / 品質] タブで [インクの乾燥を待つ] の設定を有効にしてください。もしくは、用紙の排紙後、すぐに取り除いて乾かす必要があります。 • プリンタプロパティの [文書 / 品質] タブで [印刷画質] を上げます。 • プリンタプロパティの [文書 / 品質] タブで [自然色] を選択します。
ページの先端や後端、左右の端の印刷画質が良くない	一般にプリンタでは極端に上下左右に片寄った部分には印字できません。ページの端まできれいに印刷するには、最低限のマージンを確保してください。 • 左右のマージン A4 サイズの用紙は、左右 3.37mm 以上のマージンが必要です。 A4 サイズ以外の用紙は、左右 6.35mm 以上のマージンが必要です。 • 先端と後端のマージン 印刷の先端マージンは、用紙サイズを問わず、3.17mm 以上必要です。 印刷の後端マージンは、用紙サイズを問わず、モノクロ印刷の場合で 12.7mm 以上、カラー印刷の場合で 19.05mm 以上必要です。
文字が化けて印刷されたり、印刷されるべき文字が印刷されない	• プリントカートリッジのノズルをクリーニングします。詳細は、74 ページの「ノズルのクリーニング」を参照してください。 • Jet Wind 500C のプリンタドライバが、通常使うプリンタとして設定されているか確かめます。 プリンタとパソコン間の双方向通信に問題が発生している可能性があります。詳細については、プリンタプロパティのヘルプを参照してください。次の手順でプリンタプロパティを開きます。 1 [ファイル] メニューをクリックします。 2 [印刷（またはプリント）設定] をクリックします（ボタン名はアプリケーションによって異なることがあります）。 3 [プロパティ]、[オプション]、または [設定] をクリックします。 4 ヘルプボタンをクリックします。
文字の形や並び方がくずれている	プリントカートリッジのノズルをクリーニングします。74 ページの「ノズルのクリーニング」を参照してください。
文字、グラフィックス、または写真に白いスジが出る	プリントカートリッジのノズルをクリーニングします。74 ページの「ノズルのクリーニング」を参照してください。

給排紙に関する問題

問題	対策
OHP フィルム、光沢紙がくっつく	排紙された OHP フィルム、光沢紙がくっつく場合は、次の方法で問題を解決してください。 ・インクジェットプリンタ専用の OHP フィルム、光沢紙を使用してください。 ・OHP フィルム、光沢紙は排紙後、排紙トレイの上で重なり合わないようにすぐに取り出して、並べてよく乾かしてください。 ・印刷面が手前（上）になるように自動給紙口にセットしてください。
紙づまり	1 電源ボタンを押し、プリンタの電源を切ります。 2 用紙をしっかりと持って給紙口から取り除きます。用紙がプリンタの奥でつまっていて手が届かない場合は、プリンタのフロントカバーを開いて、プリンタ前部から用紙を引き抜きます。 3 フロントカバーを閉じます。 4 電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。 5 エラーメッセージが表示されている場合は、[続行] ボタンをクリックします。 6 印刷し直します。
給紙時に一度に何枚も用紙が送り込まれる	次の点を確かめてください。 ・給紙口の右側に用紙が揃っているか。 ・用紙ガイドが用紙の幅に合っているか。 ・用紙の上端が用紙サポーター上の用紙マークに揃っているか。 ・自動給紙口にセットしている用紙が多すぎないか。 用紙の厚さによって異なりますが、自動給紙口にセットできる普通紙の枚数は最大 100 枚です。 ・用紙の束をさばいてからセットしたか。 ・給紙の際に用紙を無理に押し込んでいないか。

問題	対策
用紙が給紙されない	用紙が最後の 1 枚になったときに、給紙されないことがあります。それ以外の場合は、次のことを確認してください。 1 用紙が自動給紙口の右側に合っているか。 2 適切な枚数を超えて用紙をセットしていないか。 3 用紙ガイドが用紙の幅に合っているか。 それでも、用紙が自動給紙口に送り込まれない場合は、プリンタ内部に異物がつまっている可能性があります。次の方法で調べてください。 1 プリンタのフロントカバーを開きます。 2 プリンタ内部で給紙を妨げるものを取り除きます。 3 プリンタのフロントカバーを閉じます。 4 用紙再セット / 排出ボタンを押します。
はがきの給紙ミスが起きる	クリーニングシートでローラーを清掃してください。詳細については、99 ページの「ローラーの清掃」を参照してください。

USB ケーブル接続に関する問題

問題	対策
何も印刷されない	• Windows 98 オペレーティングシステムを使用しているか確認します。Windows 98 で印刷する場合のみ USB ケーブルをご使用になれます。 • USB ケーブルがしっかりと接続されているか確かめます。 1 AC アダプターのプラグをコンセントから抜きます。 2 プリンタとパソコンとの接続を確認します。 3 AC アダプターのプラグをコンセントに差し込みます。 4 電源ボタンを押して、電源ランプが点灯することを確認します。 • ご使用のコンピュータの BIOS で、USB 機能が使用可能になっていることを確認してください（BIOS で USB 機能を有効にする方法については、ご使用のコンピュータに付属しているマニュアルを参照するか、あるいはコンピュータの製造元にお問い合わせください)。 • プリンタが 2 台のコンピュータに接続している場合は、USB ケーブルで接続しているコンピュータからのみ印刷できます。パラレルケーブルを使って印刷するには、USB ケーブルで接続されたコンピュータの電源を切り、USB ケーブルをプリンタから取り外す必要があります。

エラーメッセージ

メッセージ	対策
カートリッジのインクが残り少なくなりました	プリントカートリッジのインク残量が少なくなっています。ブラックカートリッジを使用中の場合は、ブラックカートリッジ NS（エコノミーサイズ）またはブラックカートリッジ ND を購入してください。カラーカートリッジを使用中の場合は、カラーカートリッジ QS（エコノミーサイズ）またはカラーカートリッジ QD を購入してください。フォトカートリッジを使用中の場合は、フォトカートリッジ NS を購入してください。 インクの残量を調べるには、ステータスモニターの [カートリッジ] タブ、または [ステータス] タブをクリックしてください。
紙づまりです	1 電源ボタンを押し、プリンタの電源を切ります。 2 用紙をしっかりと持って給紙口から取り除きます。用紙がプリンタの奥でつまっていて手が届かない場合は、プリンタのフロントカバーを開いて、プリンタ前部から用紙を引き抜きます。 3 フロントカバーを閉じます。 4 電源ボタンを押し、プリンタの電源を入れます。 5 画面にエラーメッセージが表示されている場合は、[続行] ボタンをクリックします。 6 印刷し直します。紙づまりが起こったページから印刷が再開されます。
メモリ不足です	・印刷する前に、使用中のアプリケーション内で開いている他のファイルをすべて閉じます。開いているファイルが多すぎると、白紙のページが排出されることがあります。 ・他のアプリケーションを終了して、メモリを解放します。 ・印刷の解像度を下げます。 ・パソコンのメモリを増設することで解決できる場合があります。
用紙がありません	用紙を正しくセットしたあとで、用紙再セット / 排出ボタンを押します。
プリントヘッドエラー	プリントヘッドに関するエラーが発生したというメッセージが画面に表示された場合は、プリンタプロパティのヘルプにある [トラブルシューティング] を選択し、[エラーメッセージ] をクリックして、問題の解決方法を参照してください。

プリンタドライバに関する問題

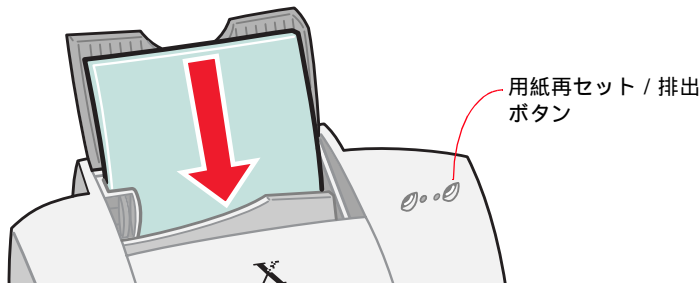
問題	対処法
プリンタドライバの設定が印刷に適用されない	プリンタドライバの設定が適用されない場合は、使用しているアプリケーション側のプリンタ設定を確かめます。 一般に、アプリケーション側での設定が、プリンタドライバ側での設定よりも優先されます。従って、印刷設定はできるだけアプリケーション側で行い、アプリケーション側で設定できない場合にかぎり、プリンタドライバ側で設定してください。
ステータスモニターの一部が灰色表示になっていて使用できない	[カートリッジ]タブのインク残量インジケータが灰色表示になっており、エラーメッセージやジョブの進行状況についての情報がコンピュータの画面に表示されない場合は、プリンタプロパティのヘルプにある [双方向通信に関する問題] を参照してください。

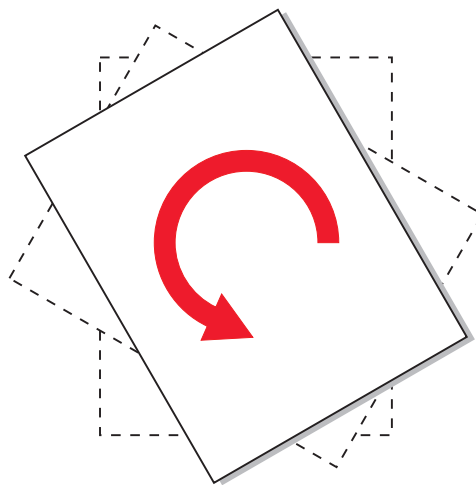
ローラーの清掃

はがきの中には、コーンスターチなどでコーティングされているものがあります。このような物質がローラーに付着すると、給紙ミスや紙づまりが起こることがあります。このようなトラブルを防ぐには、クリーニングシートを使って定期的に自動給紙口と手差し給紙口の両方から、ローラーの清掃をしてください。

同梱されているすべてのクリーニングシートを使い終わったら、パソコン量販店等にて市販品をお求めください。

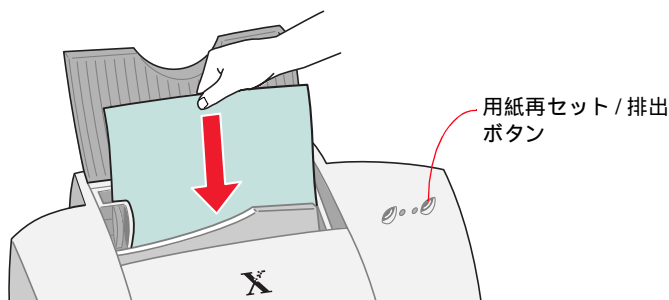
自動給紙口からのローラーの清掃

1. プリンタの電源が入っているか確認します。
2. クリーニングシートの保護紙をはがします。
3. 自動給紙口の右側に合わせてクリーニングシートをセットします。このとき、シートの粘着面が手前に向くようにセットしてください。

4. 用紙再セット / 排出ボタンを押すと、クリーニングシートがプリンタ内に送り込まれます。
5. もう一度、用紙再セット / 排出ボタンを押すと、クリーニングシートがプリンタから排出されます。

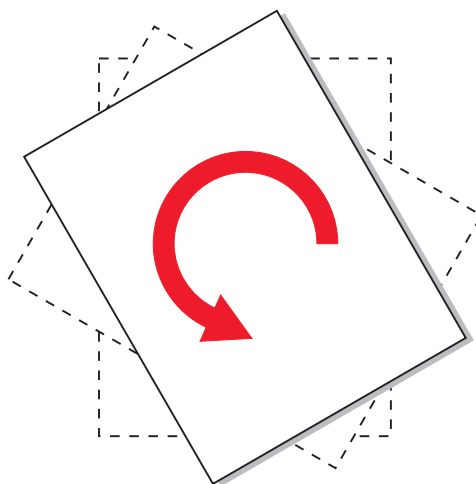
6 プリンタ内部を通過した先端が上側になるように持ち、クリーニングシートを上下逆にします。

7 手順３〜５を繰り返します。

8 「手差し給紙口からのローラーの清掃」に進みます。

手差し給紙口からのローラーの清掃

1 手差し給紙口の右側に合わせてクリーニングシートをセットします。このとき、シートの粘着面がプリンタの背面に向くようにしてください。

2 プリンタが自動的に送り始めるまで、クリーニングシートを手差し給紙口の中に差し込みます。

3 用紙再セット / 排出ボタンを押すとクリーニングシートがプリンタ内部に送り込まれます。

4 プリンタ内部を通過した先端が上側になるように持ち、クリーニングシートを上下逆にします。

5 手順 1 〜 3 を繰り返します。

消耗品のご案内

第 9 章

Jet Wind 500C で使用する消耗品の購入については、本プリンタの購入店やパソコン量販店などにお問い合わせください。

プリントカートリッジと用紙は、本機に同梱されている『消耗品のご注文について』に必要事項を記入し、ファクスで弊社のカストマーサポートセンターに注文することもできます。

プリントカートリッジ

Jet Wind 500C のプリントカートリッジは、次の商品コードでご注文ください。

カートリッジ	商品コード
ブラックカートリッジ NS（エコノミーサイズ）	L120
ブラックカートリッジ ND	J893
カラーカートリッジ QS（エコノミーサイズ）	L121
カラーカートリッジ QD	J894
フォトカートリッジ NS	J895

専用紙

弊社の専用紙をご購入のさいは、次の商品コードでご注文ください。

種類	枚数	商品コード
OA 用紙 A4 サイズ	500 枚	V381
OA 用紙 B5 サイズ	500 枚	V383
インクジェットプリンター用紙（コート紙） A4 サイズ	100 枚	V386
インクジェットプリンター用紙（コート紙） B5 サイズ	100 枚	V387
インクジェットプリンター用光沢紙 A4 サイズ	20 枚	V389
インクジェット OHP フィルム A4 サイズ	50 枚	V390
インクジェットプリンター光沢ハガキ ハガキサイズ	50 枚	V391

パラレルケーブル /USB ケーブル

市販のケーブルをお買い求めください。
パラレルケーブルは、IEEE 1284 準拠のケーブルをお買い求めください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

アフターサービスのご案内

付録 A

Jet Wind 500C の保守や操作については、下記の弊社カストマーサポートセンターにお問い合わせください。

フリーダイヤル　: 0120-50-2209
FAX　: 03-3342-1551

フリーダイヤルは、土、日、祝日を除く 9 時 30 分〜 12 時、13 時〜 17 時にお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。

また、お問い合わせは、日本国内のお客様に限らせていただきます。

お問い合わせのさいには、プリンタ背面に記載されたプリンタ名およびシリアル番号と、購入日、購入店名をあらかじめ控えておいてください。

プリンタ名 ______________________________

シリアル番号 ______________________________

購入日 ______________________________

購入店名 ______________________________

弊社の Web サイトは、以下の URL でご覧になれます。

http://www.fujixerox.co.jp

索引

こ

し

す

そ

た

ち

て

と

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

も

ゆ

よ

ら

り

ろ

保守・操作のお問い合わせは

Jet Wind 500C の保守や操作については、下記のカストマーサポートセンターにお問い合わせください。

フリーダイヤル　：　0120-50-2209
FAX　：　03-3342-1551

フリーダイヤルは、土、日、祝日を除く 9 時 30 分～ 12 時、13 時～ 17 時にお受けします。

お問い合わせのさいには、プリンタ背面に記載されたプリンタ名およびシリアル番号と、購入日、購入店名をあらかじめ控えておいてください。

富士ゼロックスに対するご意見、ご相談などは、お客様相談センターへご連絡ください。

フリーダイヤル ：0120-27-4100

（フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時、東京でお受けします。ただし、通話地域制限がある内線電話機からはご利用になれません。全国通話ができる電話機をご使用ください。）

Jet Wind 500C ユーザーズガイド（Windows® 95/98 用）

著作者ー 富士ゼロックス株式会社
ドキュメントエンジニアリング部
発行者ー 富士ゼロックス株式会社　　発行年月ー 1999 年 10 月　１版
〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-17-22
電話 03（3585）3211